

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査の調査結果について

## 生駒市立生駒南中学校

令和7年度、「全国学力・学習状況調査」を下記のとおり実施しました。本校では、生徒たちの学力や学習状況を把握・分析し、学力向上や生活習慣等の改善につなげるため、平成19年度より本調査に参加しています。

生徒の学習状況を把握・分析し、本校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるとともに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立させていくことを目的に、この調査による生駒南中学校の調査結果について、以下のとおり取りまとめました。

### 【令和7年度 全国学力・学習状況調査】

【調査日】 令和7年4月16日（水）、17日（木）

#### 【調査内容】

＜教科に関する調査＞ 国語、算数・数学、理科

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

＜学習状況調査＞

児童生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問）

学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

【調査対象】 理科、調査質問 中学校3年生43名（受検者数）

国語、数学 中学校3年生42名（受検者数）

## 【全国学力・学習状況調査結果】

○各数値の値は、割合（％）で表している。ただし、理科の結果は、IRTスコアで表示しているところがある。

### <教科に関する調査結果の概要>

#### 【平均正答率】

○国語は生駒市を 2％下回り、奈良県を 2％、全国を 0.7％上回っている。

（本校 55.0％、生駒市 57.0％、奈良県 53.0％、全国 54.3％）

○数学は生駒市を 13％、奈良県を 5％、全国を 6.3％下回っている。

（本校 42.0％、生駒市 55.0％、奈良県 47.0％、全国 48.3％）

○理科は生駒市を 27 下回り、奈良県は±0、全国を 11 下回っている。

（本校 492、生駒市 519、奈良県 492、全国 503）

○国語は、奈良県と全国を上回っている。数学は、奈良県、全国を下回っている。理科は、奈良県と同じスコアであるが、全国を下回っている。国語、数学、理科のすべてが生駒市を下回っている現状に課題がある。

	国語	数学	理科(IRT)
本校	55.0	42.0	492
生駒市平均	57.0	55.0	519
奈良県平均	53.0	47.0	492
全国平均	54.3	48.3	503

※中学校理科はIRTスコアで表示

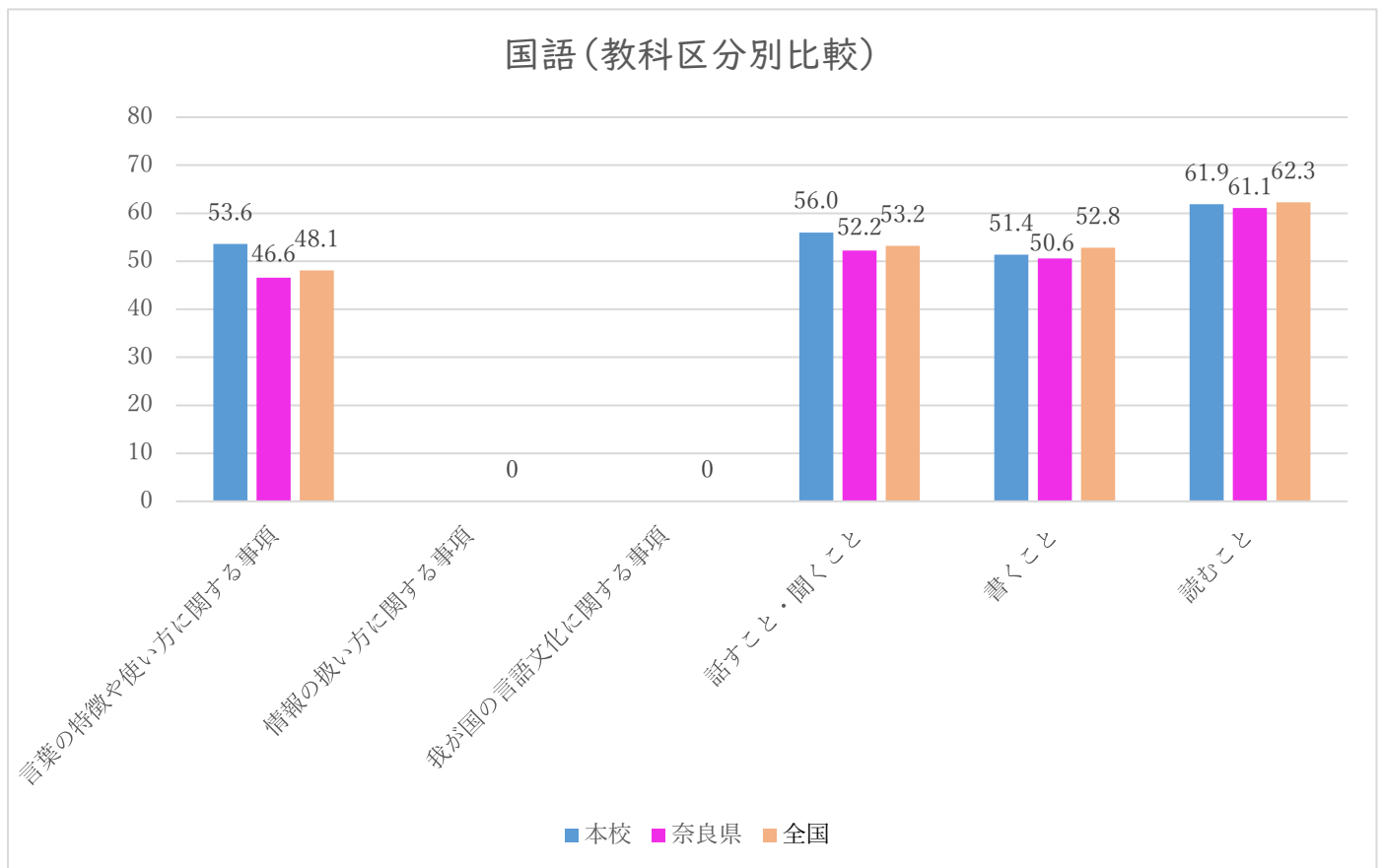
IRTとは国際的な学力調査（PISA・TIMS など）や英語資格・検定試験（TOEIC・TOEFL など）で採用するテスト理論。全国平均が 500 を基準に表示。

## 【教科の区分・領域別比較】

### 国語

〈本校・奈良県・全国の区分別正答率〉

区分	本校	奈良県	全国	奈良県との差	全国との差
言葉の特徴や使い方に関する事項	53.6	46.6	48.1	7	5.5
情報の扱い方に関する事項	0	0	0	0	0
我が国の言語文化に関する事項	0	0	0	0	0
話すこと・聞くこと	56.0	52.2	53.2	3.8	2.8
書くこと	51.4	50.6	52.8	0.8	-1.4
読むこと	61.9	61.1	62.3	0.8	-0.4

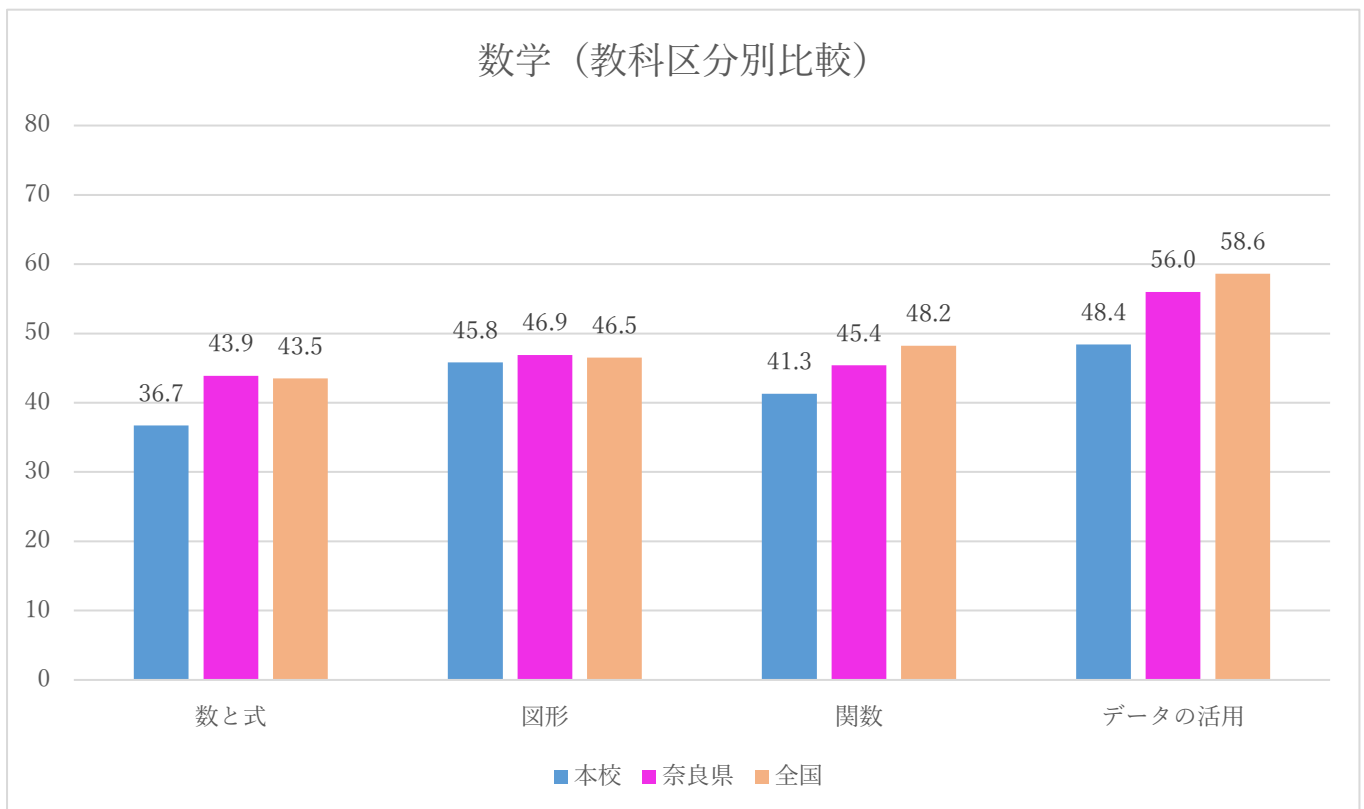


○国語に関して、奈良県と比較した場合、すべての区分において、正答率が上回っている。全国と比較した場合、正答率が下回っている『書くこと』、『読むこと』に課題がある。

## 数学

〈本校・奈良県・全国の区分別正答率〉

区分	本校	奈良県	全国	奈良県との差	全国との差
数と式	36.7	43.9	43.5	-7.2	-6.8
図形	45.8	46.9	46.5	-1.1	-0.7
関数	41.3	45.4	48.2	-4.1	-6.9
データの活用	48.4	56.0	58.6	-7.6	-10.2



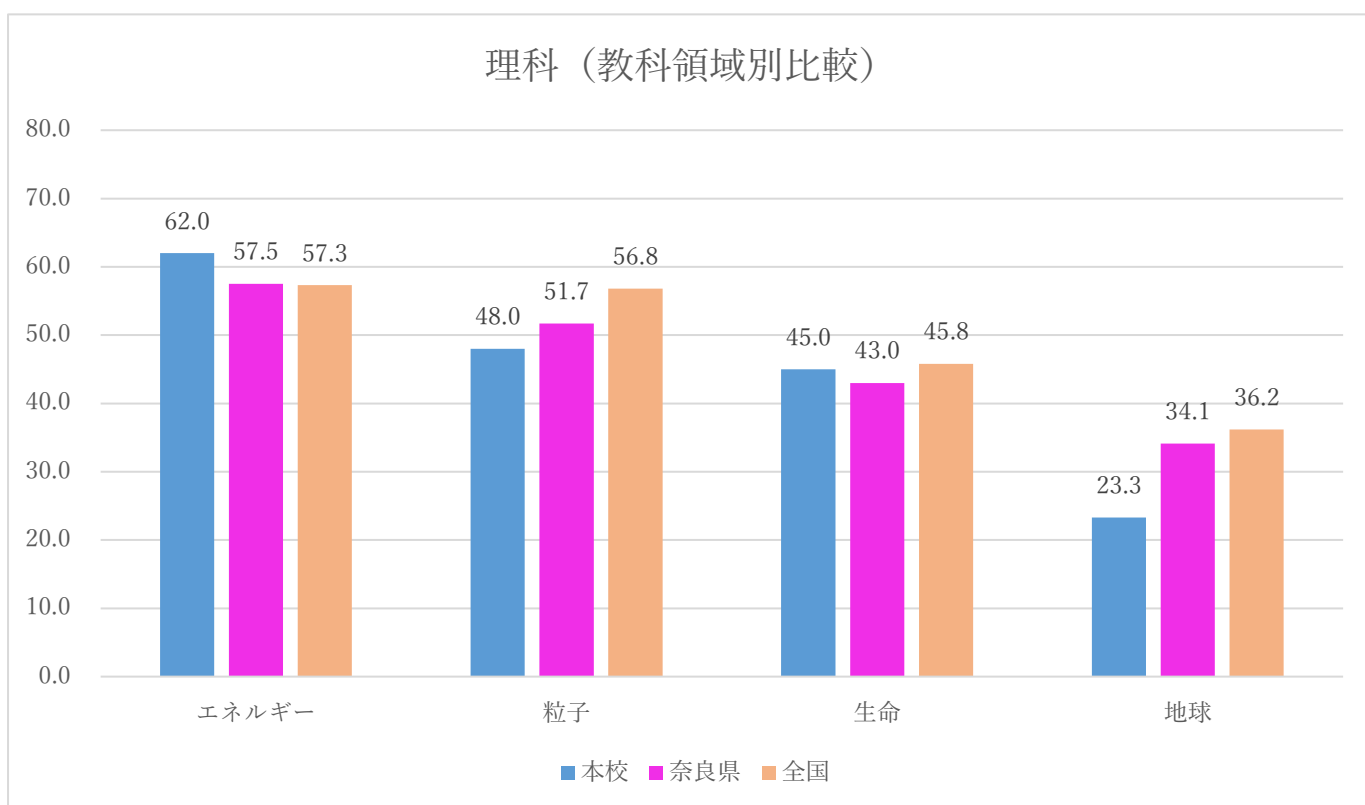
○数学に関して、本校の正答率が『数と式』『図形』『関数』『データの活用』すべての区分において、奈良県と全国を下回っていることが課題である。特に、『データの活用』は、全国を10.2%下回っており、強く課題意識をもつ必要がある。

## 理科

〈本校・奈良県・全国の領域別正答率〉

領域	本校	奈良県	全国	奈良県との差	全国との差
エネルギー	62.0	57.5	57.3	4.5	4.7
粒子	48.0	51.7	56.8	-3.7	-8.8
生命	45.0	43.0	45.8	2.0	-0.8
地球	23.3	34.1	36.2	-10.8	-12.9

※生徒一人が解く問題数は26問。公開問題10問、非公開問題16問。公開問題10問を分析。



○理科に関して、『エネルギー』を柱とする領域は、奈良県、全国を上回っています。『生命』を柱とする領域は、奈良県を上回り、全国との差は-0.8%と僅かである。『粒子』を柱とする領域と『地球』を柱とする領域は奈良県、全国を下回っている。特に、『地球』を柱とする領域は、奈良県を10.8%、全国を12.9%下回っており、強く課題意識をもつ必要がある。

## 【令和7年度 全国学力・学習状況調査結果のまとめ】

【調査日】 令和7年4月16日（水）、17日（木）

### 【調査の概要】

《教科に関する調査》 国語 算数・数学 理科

- ①身に付けておかなければ後の学年等の内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

《学習状況調査》

児童生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問）

学校質問紙調査

【調査対象】 理科、調査質問 中学校3年生43名（受検者数）

国語、数学 中学校3年生42名（受検者数）

### 〈教科に関する調査結果の概要〉

- 今年度、本校の国語が生駒市を 2.0%下回り、奈良県を 2.0%、全国を 0.7%上回った。数学は生駒市を 13.0%、奈良県を 5.0%、全国を 6.3%下回った。理科は、生駒市を 27 下回り、奈良県と同じスコア 492 であり、全国を 11 下回る結果となった。
- 国語に関して、奈良県と比較した場合、『言葉の特徴や使い方に関する事項』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』すべての区分で上回っている。全国と比較した場合、『書くこと』が 1.4%下回り、『読むこと』が 0.4%下回っており、『書くこと』『読むこと』の2つの区分が課題である。「発表のまとめの内容をより分かりやすく伝えるためのスライドの工夫について、どのような助言をするか、自分の考えを書く」という問題に対して、本校の正答率が奈良県、全国ともに 10%以上回っていたことが特徴的である。
- 数学に関して、本校の正答率が『数と式』『図形』『関数』『データの活用』すべての区分において、奈良県と全国を下回っていることが課題である。特に、『データの活用』は、全国との差が-10.2%と大差であり、強く課題意識をもつ必要がある。その中でも、「Aの手元のカードが「グー」、「チョキ」、「パー」、「パー」の4枚、Bの手元のカードが「グー」、「チョキ」の2枚のとき、AとBの勝ちやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する」という問題での本校の正答率が、奈良県を14.4%、全国を17.8%下回っており、確率の問題の考え方について復習することが必要である。
- 理科に関して、『エネルギー』を柱とする領域は、奈良県、全国を上回っている。『生命』を柱とする領域は、奈良県を上回り、全国を僅か 0.8%下回っている。『粒子』を柱とする領域と『地球』を柱とする領域は奈良県、全国を下回っている。特に、『地球』を柱とする領域は、奈良県を10.8%、全国を12.9%下回っており、強く課題意識をもつ必要がある。『地球』を柱とする領域の問題は、「地層1から地層4までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する」の 1 問のみの出題であったが、この問題の正答率が低かった。

## 【児童生徒質問紙調査の選択項目】

### 【主体的・対話的で深い学び】

- 31 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」
- 32 「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」
- 33 「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」(新規)
- 34 「1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか」(新規)
- 35 「学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」(新規)
- 37 「授業で学んだことを、次の授業や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか」(新規)
- 39 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」(新規)

### 【ICT を活用した学習状況】

- 28 「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」
- 29-1 「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する(文字、コメントをかくことなど)ことができると思いますか」(新規)
- 29-2 「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができると思いますか」(新規)
- 29-3 「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか」(新規)
- 29-4 「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか」(新規)

### 【総合・学級活動・道徳】

- 40 「総合的な学習の時間では、自分で課題を組み立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」(新規)
- 41 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」(新規)
- 42 「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」(新規)
- 43 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」(新規)

### 【生活習慣】

- 1 「朝食を毎日食べていますか」
- 2 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」
- 3 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

### 【学習習慣】

- 17 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。」
- 19 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」

### 【読書等】

- 21 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）」（新規）
- 22 「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除きます）」（新規）
- 23 「新聞を読んでいますか」
- 24 「読書は好きですか」（新規）

### 【自己有用感等】

- 5 「自分には、よいところがあると思いますか」
- 6 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」
- 10 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」（新規）
- 12 「学校に行くのは楽しいと思いますか」（新規）
- 14 「友達関係に満足していますか」（新規）
- 15 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」

### 【向社会性】

- 8 「人が困っているときは、進んで助けていますか」
- 9 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」
- 11 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」
- 27 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

### 【主体的な学習の調整】

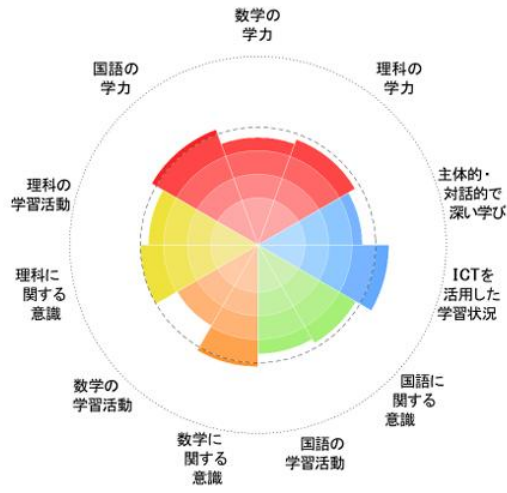
- 16 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」（新規）
- 36 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」（新規）



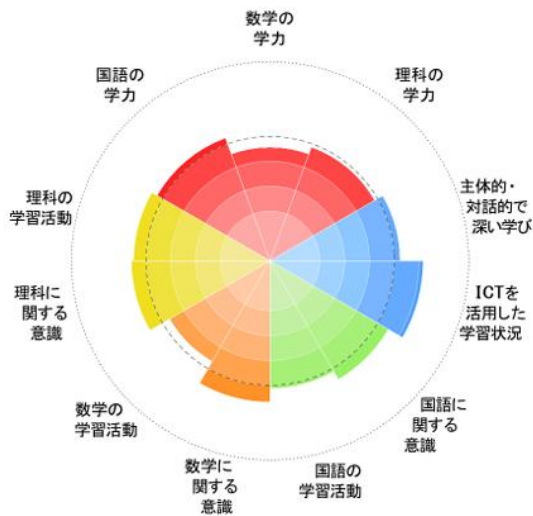
# <生徒質問紙調査の結果チャート>

生徒数
43

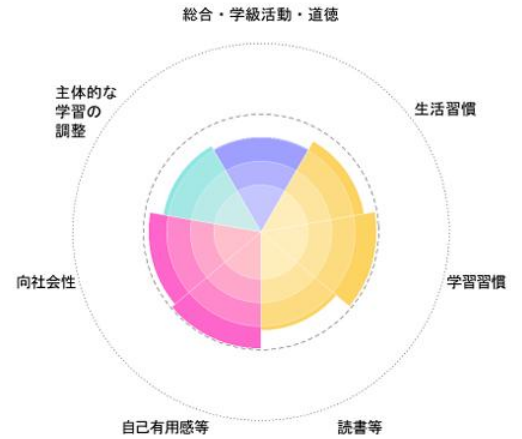
〔教科を中心とした学力・学習状況〕  
(全国基準)



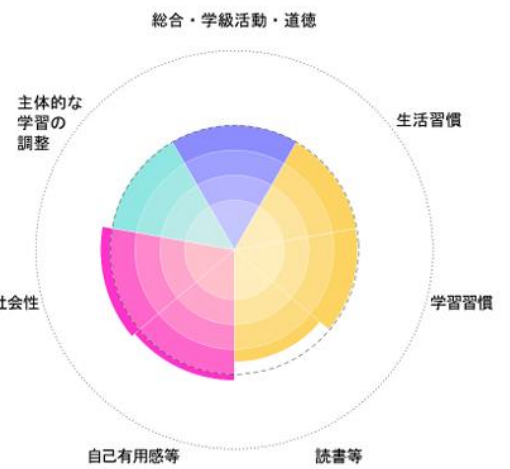
(奈良県基準)



〔その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）〕  
(全国基準)



(奈良県基準)



<令和7年度教科を中心とした学力・学習状況の領域名と生徒質問番号の対応一覧表>

領域番号	領域名	生徒質問 対応領域・質問番号
1	国語の学力	
2	数学の学力	
3	理科の学力	
4	主体的・対話的で深い学び	(31)～(35)(37)(39)
5	ICTを活用した学習状況	(28)(29)
6	国語に関する意識	(44)(45)(47)
7	国語の学習活動	(46)(48)～(51)
8	数学に関する意識	(52)(53)(55)(56)
9	数学の学習活動	(54)(57)～(59)
10	理科に関する意識	(60)(61)(63)～(66)
11	理科の学習活動	(62)(67)～(70)

※領域番号1～2については、各教科の全国平均正答率を、領域番号3については全国平均IRTスコアを基準として比較したものである。  
※領域番号4～11については、「中学校生徒質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

<令和7年度その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）の領域名と生徒質問番号の対応一覧表>

領域番号	領域名	生徒質問 対応領域・質問番号
12	総合・学級活動・道徳	(40)～(43)
13	生活習慣	(1)～(3)
14	学習習慣	(17)(19)
15	読書等	(21)～(24)
16	自己有用感等	(5)(6)(10)(12)(14)(15)
17	向社会性	(8)(9)(11)(27)
18	主体的な学習の調整	(16)(36)

※領域番号12～18については、「中学校生徒質問対応領域・項目番号」に表示した質問における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較したものである。

## 〈生徒質問紙調査の結果の概要〉

### 【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

- 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という質問に対して、69.7%の生徒が「発表していた」もしくは「どちらかといえば、発表していた」と回答しています。昨年度をわずか0.5%上回っていますが、授業中の発表の機会を増やす必要があります。また、資料を作成する能力を伸ばし、さまざまな発表を互いに見合うことで多様なものの見方や考え方を育てていくことが大切です。
- 「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」という質問に対して、本校では、69.8%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を14.8%下回っています。生徒自身が主体的に学習に取り組めるように授業で教員側が意識して導く必要があります。自己解決能力を高めるために、話し合い活動を通した問題解決型学習や振り返り活動を取り入れた授業を行っていく必要があります。
- 「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」（新規）という質問に対して、58.2%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国を12.4%下回っています。総合の時間などに、ある教科で学んだことを活用して自分の考えをまとめたり、他の教科の中で関連付けて学びを深めたり、発展的な活動ができる授業づくりをすることが課題です。
- 「1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか」（新規）という質問に対して、本校は、83.7%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国を4.4%、生駒市を8.3%上回っています。80%以上の生徒が授業は自分に合っていると回答していることから、これからの本校生徒の学力向上を目指した視点から考えると、授業で、生徒のステップアップにつながるような発展的な問題や調べてみたくなるような内容を取り上げてみるなど、家庭学習で生徒が主体的に取り組みたくなるような手立てを教員が常に意識して行っていくことが重要な課題であると考えます。
- 「学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」（新規）という質問に対して、本校は、81.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国と生駒市を約3%下回っています。道徳の時間だけでなくすべての教科において話し合い活動を通して、お互いの意見や考えを尊重するとともに、共感する心を育てる場面を多く作ることが大切です。
- 「授業で学んだことを、次の授業や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いませんか」（新規）という質問に対して、本校は、60.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。特に、全国の

割合と比較すると、14.4%の大差がついています。学習内容が私たちの生活のどの場面で関連し、活用されているのか考える場面や振り返り活動をするのが喫緊の課題です。

- 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」（新規）という質問に対して、本校は、86.1%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。特に差が大きかった全国の割合と比較すると、5.8%の差がついています。授業や学校生活の中で、対話を通して相互理解と信頼関係を深め、協働して課題解決する力を育むことが大切であると考えられます。

### 【ICTを活用した学習状況】

- 「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に対して、本校では、100%の生徒が「ほぼ毎日」もしくは「週3回以上」と回答しています。参考として昨年度は、「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と回答した生徒が100%でした。ICT機器の活用頻度が昨年度より増えていることがわかります。本校の授業は、PC・タブレットなどのICT機器を活用して進められており、生徒の学力向上につながるICT機器活用の授業づくりが重要な課題です。
- 「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する（文字、コメントをかくことなど）ができると思いますか」（新規）という質問に対して、本校は、90.7%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。ICTを活用した学習状況に関する質問29（1～4）の4つの項目において、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、生徒のICT機器を活用する力を伸ばしていく授業づくりが大切です。

### 【総合・学級活動・道徳】

- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を組み立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」（新規）という質問に対して、本校は、72.1%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。奈良県の割合と比較すると、8.0%上回っていますが、全国を7.4%、生駒市を6.2%下回っています。総合的な学習の時間では、学校や地域の実情に応じて、学校全体や各学年で定めた目標や内容を生徒に明確に示すとともに、各教科の枠を超えて、生徒が主体的に課題を見つけ、解決する過程を通して、学び方や考え方を身につけさせ、将来の生き方を考える力を育むことができるよう教員全員で活動内容を考えていく必要があると考えられます。
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」（新規）という質問に対して、本校は、69.8%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っており、特に差が大きかった全国との差は14.5%となっています。自分たちの学級生活をよりよくするために意見を交換し、合意形成を目指す話し合い活動の取組をより一層取り入れる必要があると考えられます。

○「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」(新規)という質問に対して、本校は、83.7%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。これからも引き続き、学級活動における自分が果たすべき役割や目標などを明確にし、実践していくことが大切です。

○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」(新規)という質問に対して、本校は、93.0%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。道徳の授業では、これからもより一層、意見交換を中心に行い、新たな気づきや発見をしながら、共感力を育み、人間としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目指す授業づくりが重要です。

### 【生活習慣】

○「朝食を毎日食べていますか」という質問に対して、本校では、90.7%の生徒が「している」もしくは「どちらかといえば、している」と回答し、昨年度を6.1%上回っています。しかしながら、全国、生駒市の割合と比較すると、下回っています。朝食を毎日食べることで、体温を上げ脳と体を活動状態にし、午前中の集中力や学力の向上、健康的な成長を支える上で非常に大切であることを伝え、啓発することが必要です。

○「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問に対して、本校では、72.1%の生徒が「している」もしくは「どちらかといえば、している」と回答し、昨年度を15.1%下回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。毎日、同じくらいの時刻に寝ることは、規則正しい睡眠リズムを作り、心身の成長と発達のために不可欠であり、学習能力の定着などにもメリットがあります。質問1と同様に、啓発することが必要です。

○「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問に対して、本校では、88.4%の生徒が「している」もしくは「どちらかといえば、している」と回答し、昨年度を3.9%下回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。毎日、同じくらいの時間に起きると、体内のリズムが整い、睡眠の質の向上や日中の集中力維持につながります。質問1、質問2と同様に、規則正しい生活を心掛けることは大切であることを生徒たちに啓発することが喫緊の課題です。

### 【学習習慣】

○「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)」。という質問に対して、本校では、69.7%の生徒が学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上勉強していると回答しています。昨年度を9.8%下回っています。全国と奈良県の割合と比較すると、上回っていますが、生駒市の割合と比較すると4.7%下回っています。学習塾に通う生徒が多くなっていますが、主体的に自分の学習を調整することを意識しながら学習することが大切です。

○「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」という質問に対して、本校では、37.3%の生徒が土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強していると回答しています。昨年度を42.2%下回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。土曜日や日曜日など学校が休みの日は、まとまった時間を確保することが可能であり、学習効果を高めることができます。自分自身で計画を立て、平日の学習内容の復習を行い、学習内容の定着を図ることが重要です。

### 【読書等】

○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）」（新規）という質問に対して、本校では、13.9%の生徒が30分以上読書していると回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。また、本校の生徒で普段（月曜日から金曜日）、1日当たり53.5%の生徒が全く読書をしていないことも分かっています。校内の図書室や地域の図書館を活用するなど、読書離れの改善に努める必要があります。

○「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除きます）」（新規）という質問に対して、本校では、25.6%の生徒が家に100冊以上の本があると回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。学校では、朝の読書時間などを良い機会として、読書は、考える力・感じる力・創造する力を育み、知識の獲得や多様な文化の理解につながることで、人生を豊かにする重要な活動であることを伝えることが大切です。

○「新聞を読んでいますか」という質問に対して、本校では、週に1回以上新聞を読んでいる生徒が0.0%と回答しています。昨年度は2.6%の生徒が週1回以上新聞を読んでいると回答していました。今年度の結果を全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。新聞離れが顕著に表れています。一人一台端末の環境が整っており、すぐにインターネットで情報を収集できるようになっている背景が影響していると考えられます。情報リテラシー教育が大切です。

○「読書は好きですか」（新規）という質問に対して、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、53.5%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。質問21の1日当たりどれくらいの時間、読書をするかと相関関係にあります。読書が好きと思う気持ちを育てる取組を多く取り入れ、読書をする時間の増加につなげられるようにすることが課題です。

### 【自己有用感等】

- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して、本校では、88.4%の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を3.8%上回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、他者も自分も大切にできるような取組を積極的に行い、自己肯定感を高められるような環境づくりが大切です。
  
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問に対して、本校では、97.7%の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を5.4%上回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、生徒との信頼関係を大切にしながら、一人ひとりの生徒に寄り添い、個々の成長につながる支援を行うことが大切であると考えられます。
  
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」（新規）という質問に対して、本校では、67.5%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、生駒市を上回ってはいるものの、全国と奈良県を下回っています。質問6を鑑みると、先生はよいところを認めてくれて信頼関係は築けているが、相談できる環境が十分ではないのではないかと考えられます。これからは、より一層生徒の SOS にいち早く気づき、積極的な生徒指導を行っていくことが大切であると考えられます。
  
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」（新規）という質問に対して、本校では、88.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、生徒一人ひとりが安心して学校に通い、楽しく充実した学校生活を送れるような取組を工夫していく必要があります。
  
- 「友達関係に満足している」（新規）という質問に対して、本校では、93.0%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、学級活動を主軸としながら、クラスや学年の垣根を超えた交流や仲間づくりを行っていくことが大切であると考えられます。
  
- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という質問に対して、本校では、93.1%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を0.7%上回っています。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。しかし、約7.0%の生徒が「あまりない」と回答していることから、生徒一人ひとりに寄り添いながら、ほんの少しの変化に気づき、支援していくことが大切であると考えられます。

## 【向社会性】

- 「人が困っているときは、進んで助けていますか」という質問に対して、本校では、95.4%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。3年間のデータを見ると、人が困っているときは、進んで助けている生徒の割合が2年続けて増えていることが分かります。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。これからも、思いやりの心を育てる取組が大切です。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対して、本校では、100%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度の92.3%から上昇しています。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、道徳の授業をはじめ各教科において、いじめのない仲間づくりを推進していくことが大切です。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、本校では、100%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度の97.4%から上昇しています。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、地域や学校で人との関わりを深められるような取組を行い、将来の職業観・勤労観を育てていくことが大切です。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に対して、本校では、69.8%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度より17.4%下回っています。今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、奈良県とほぼ同じ割合であるものの、全国と生駒市を下回っています。地域や社会とのつながりを意識した取組を取り入れ、地域や社会に貢献することの大切さを伝えていくことが課題です。

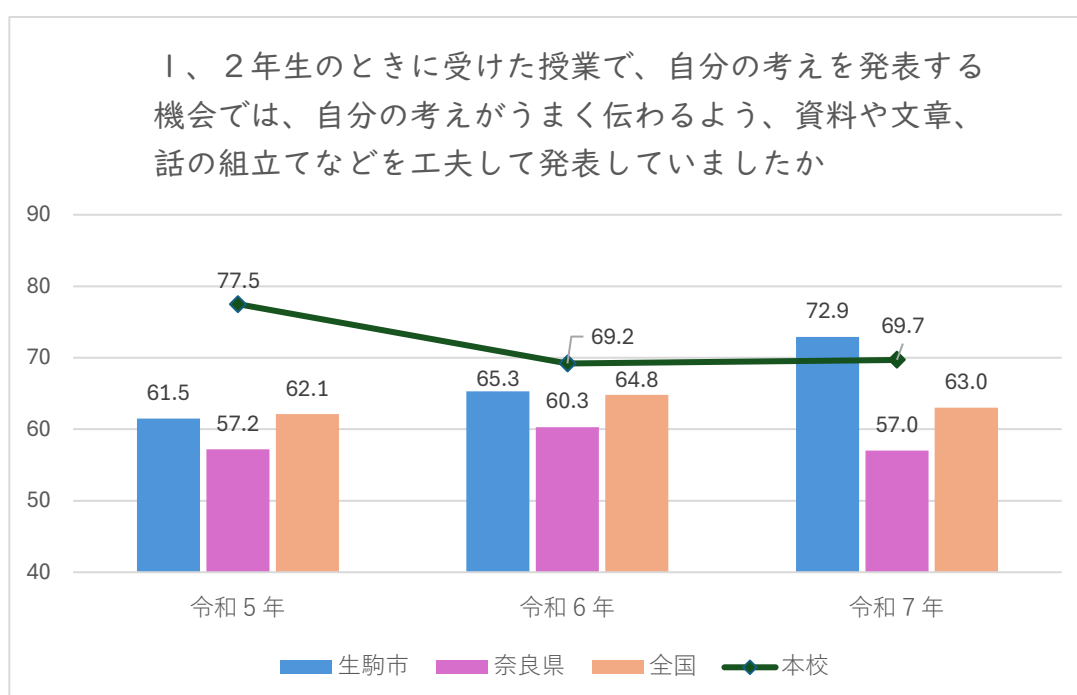
## 【主体的な学習の調整】

- 「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」（新規）という質問に対して、本校では、74.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、奈良県を上回り、全国と生駒市を下回っています。今後は、生徒自身が学習状況を把握し、学習方法を自ら改善する力をつけられるような学習指導が必要です。
- 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」（新規）という質問に対して、本校では、48.9%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。本校の半数以上の生徒が、学習した内容を次の学習につなげることがあまりできていないことがわかります。授業では、目標を設定して学習し、次の学習につながる振り返りを意識して行う必要があります。

### 【主体的・対話的で深い学び】

○31 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」

	令和5年	令和6年	令和7年
本校	77.5	69.2	69.7
生駒市	61.5	65.3	72.9
奈良県	57.2	60.3	57.0
全国	62.1	64.8	63.0

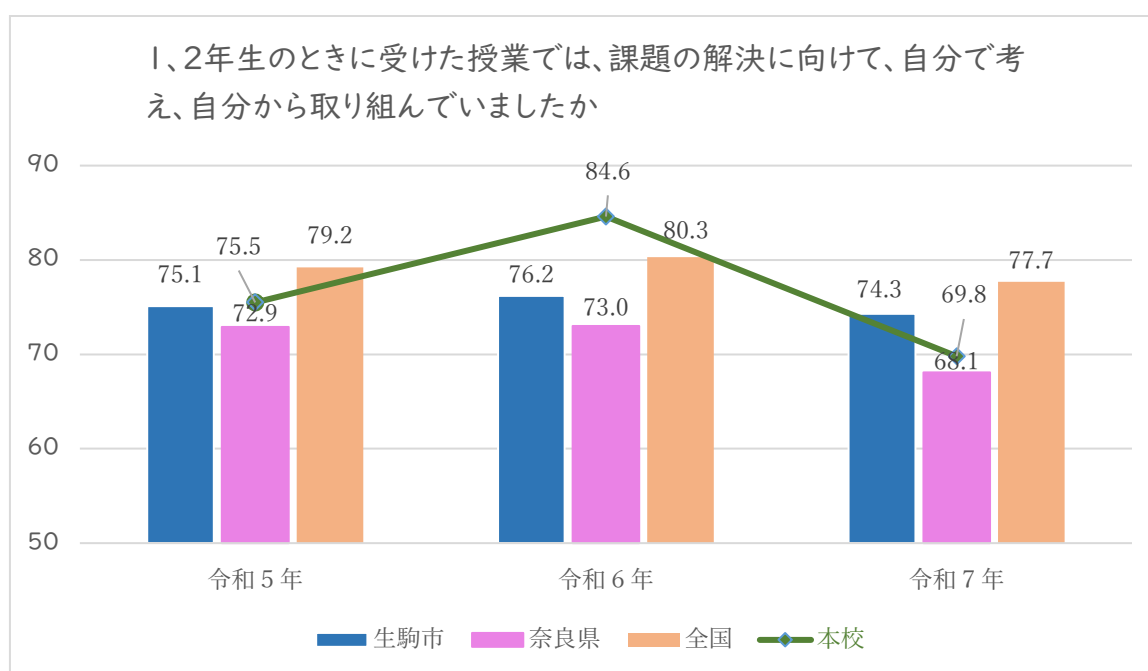


本校では、69.7%の生徒が「発表していた」もしくは「どちらかといえば、発表していた」と回答しています。昨年度をわずか0.5%上回っていますが、授業中の発表の機会を増やす必要があります。また、資料を作成する能力を伸ばし、さまざまな発表を互いに見合うことで多様なものの見方や考え方を育てていくことが大切です。



○32 「1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」

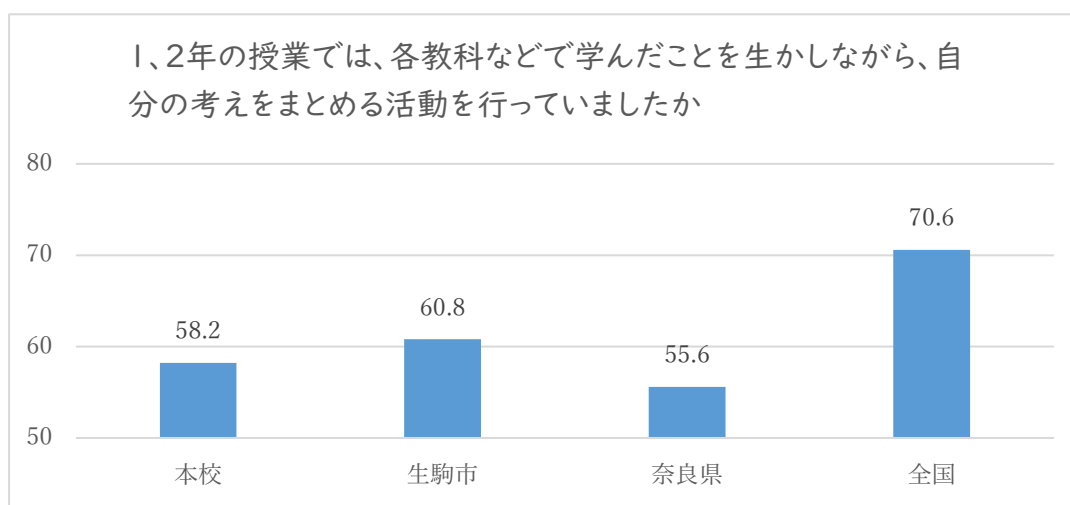
	令和5年	令和6年	令和7年
本校	75.5	84.6	69.8
生駒市	75.1	76.2	74.3
奈良県	72.9	73.0	68.1
全国	79.2	80.3	77.7



本校では、69.8%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を14.8%下回っています。生徒自身が主体的に学習に取り組めるように授業内で教員側が意識して導く必要があります。自己解決能力を高めるために、話し合い活動を通した問題解決型学習や振り返り活動を取り入れた授業を行っていくことが大切です。

○33 「1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」(新規)

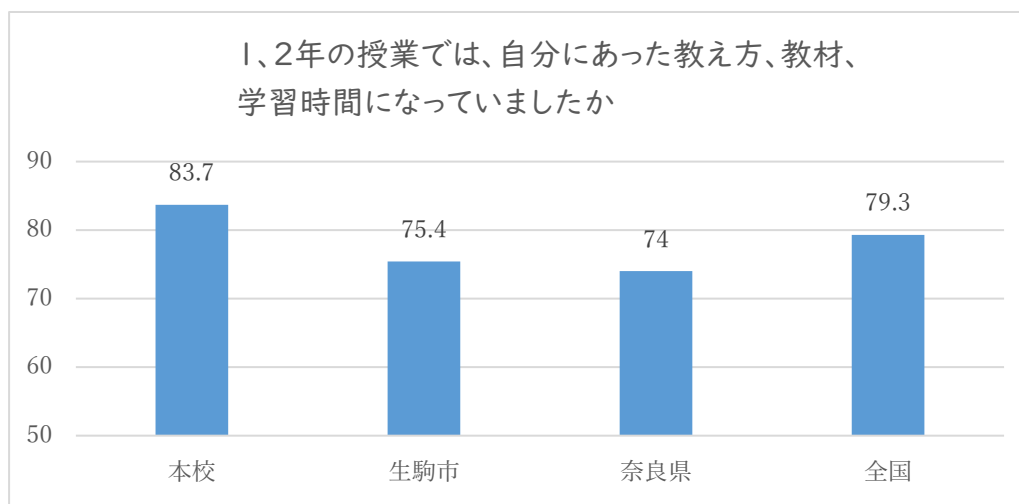
	令和7年
本校	58.2
生駒市	60.8
奈良県	55.6
全国	70.6



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、58.2%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国を12.4%下回っています。総合の時間などに、ある教科で学んだことを活用して自分の考えをまとめたり、他の教科の中で関連付けて学びを深めたり、発展的な活動ができる授業づくりをすることが課題です。

○34 「1、2年生のときに受けた授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか。」（新規）

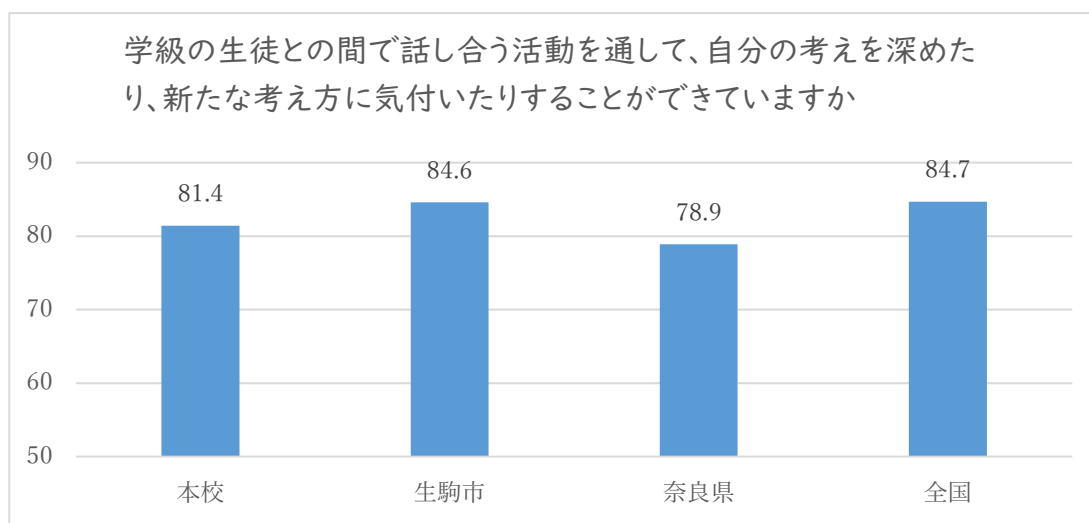
	令和7年
本校	83.7
生駒市	75.4
奈良県	74.0
全国	79.3



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、83.7%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国を4.4%、生駒市を8.3%上回っています。80%以上の生徒が授業は自分に合っていると回答していることから、これからの本校生徒の学力向上を目指した視点から考えると、授業で、生徒のステップアップにつながるような発展的な問題や調べてみたくなるような内容を取り上げてみるなど、家庭学習で生徒が主体的に取り組みたくなるような手立てを教員が常に意識して行っていくことが重要な課題です。

○35 「学級の生徒との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」(新規)

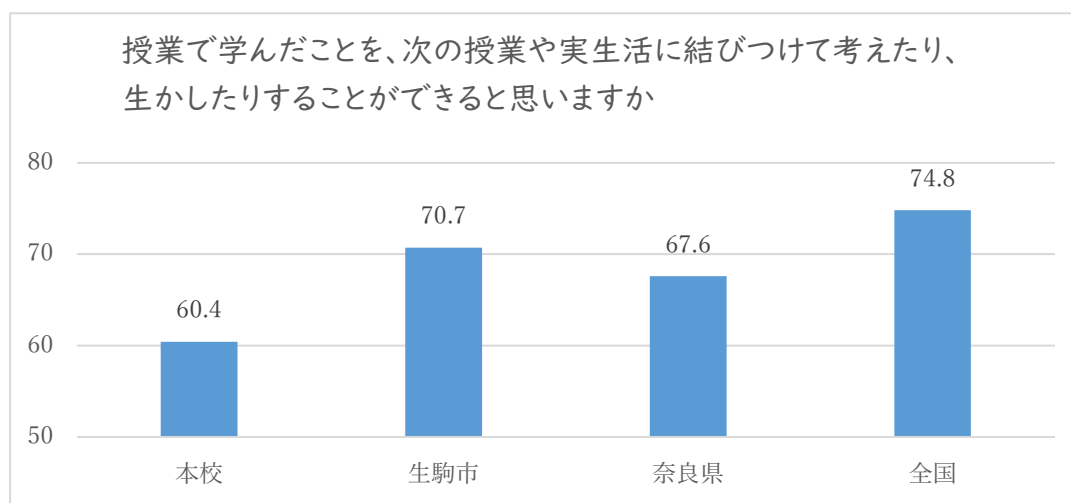
	令和7年
本校	81.4
生駒市	84.6
奈良県	78.9
全国	84.7



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、81.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しました。全国と生駒市を約3%下回っています。道徳の時間だけでなくすべての教科において話し合い活動を通して、お互いの意見や考えを尊重するとともに、共感する心を育む場面を多く作りることが大切です。

○37 「授業で学んだことを、次の授業や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると  
 いますか。」(新規)

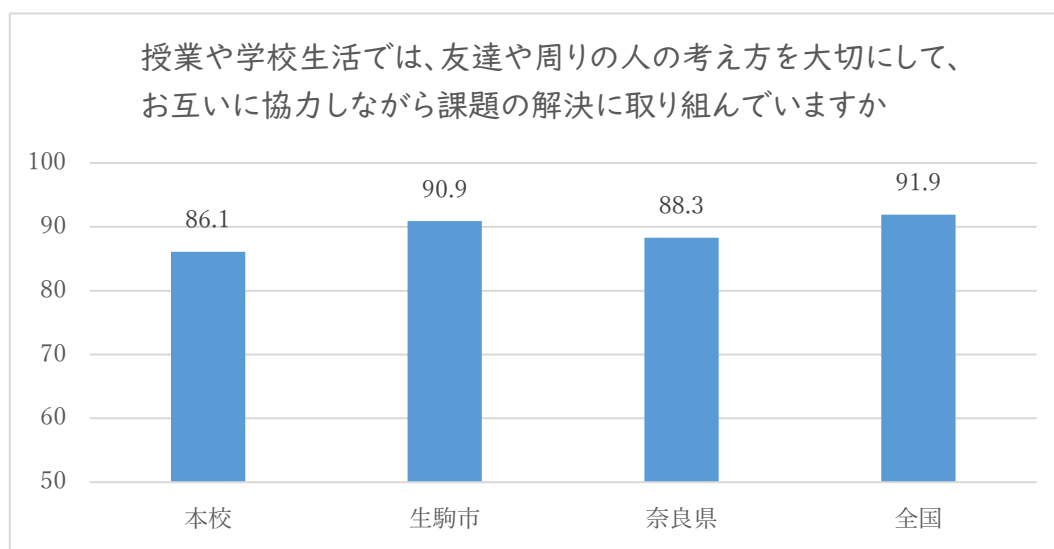
	令和7年
本校	60.4
生駒市	70.7
奈良県	67.6
全国	74.8



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。「本校は、60.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。特に、全国の割合と比較すると、14.4%の大差がついています。学習内容が私たちの生活のどの場面で関連し、活用されているのか考える場面や振り返り活動を行うことが喫緊の課題です。

○39 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。」(新規)

	令和7年
本校	86.1
生駒市	90.9
奈良県	88.3
全国	91.9

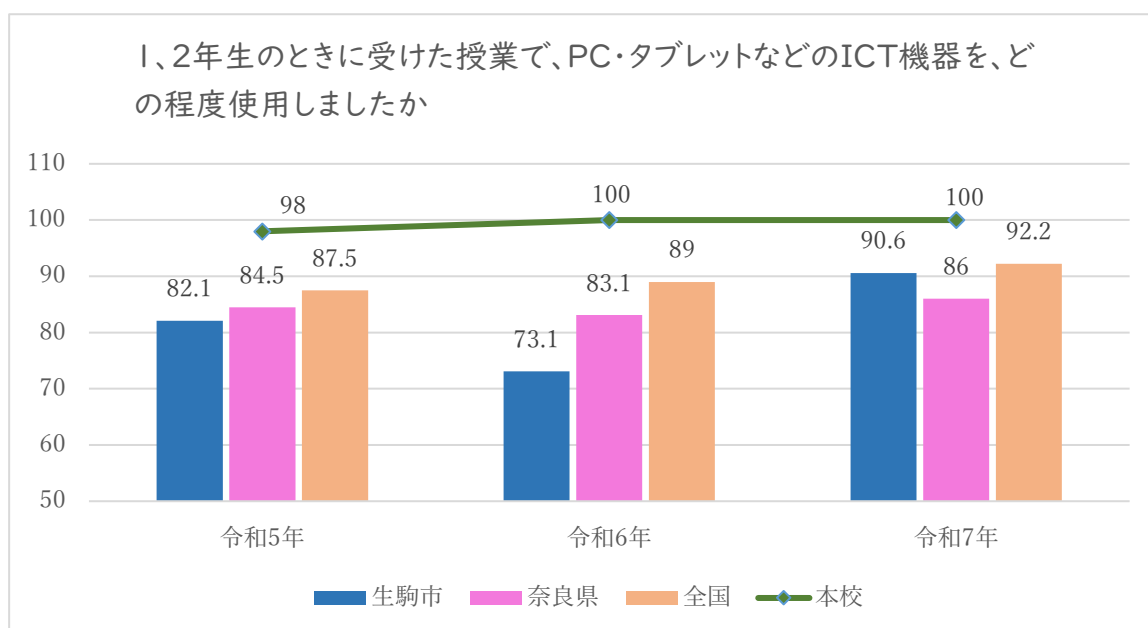


この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、86.1%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。特に差が大きかった全国の割合と比較すると、5.8%の差がついています。授業や学校生活の中で、対話を通して相互理解と信頼関係を深め、協働して課題解決する力を育むことが大切であると考えられます。

## 【ICT を活用した学習状況】

○28「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」

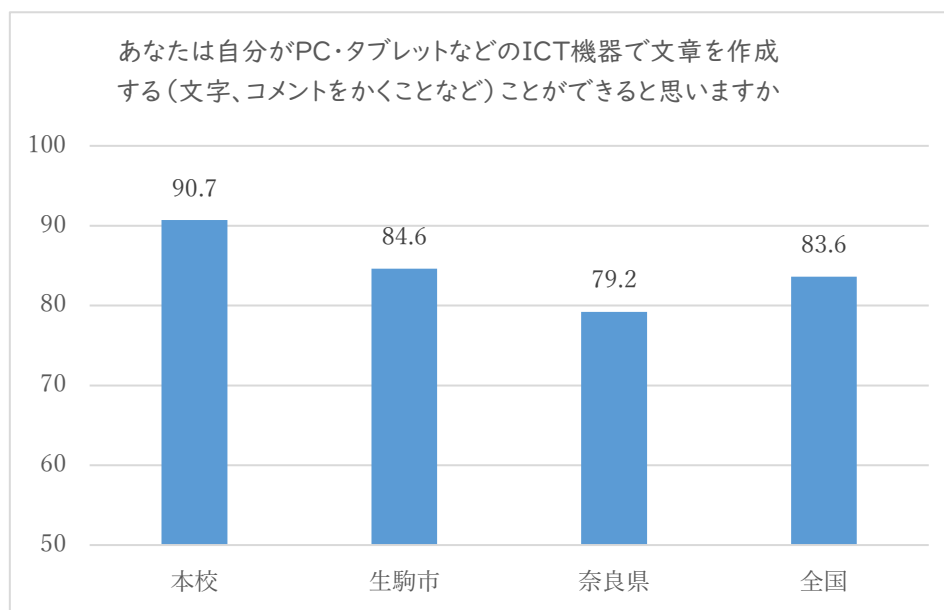
	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
本校	98	100	100
生駒市	82.1	73.1	90.6
奈良県	84.5	83.1	86.0
全国	87.5	89	92.2



本校では、100%の生徒が「ほぼ毎日」もしくは「週3回以上」と回答しています。参考として昨年度は、「ほぼ毎日」「週3回以上」「週1回以上」と回答した生徒が100%でした。本校の授業は、PC・タブレットなどのIC機器を活用して進められており、生徒の学力向上につながるICT機器活用の授業づくりが重要な課題です。

〇29-Ⅰ「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントをかくことなど)ことができると思いますか」(新規)

	令和7年
本校	90.7
生駒市	84.6
奈良県	79.2
全国	83.6

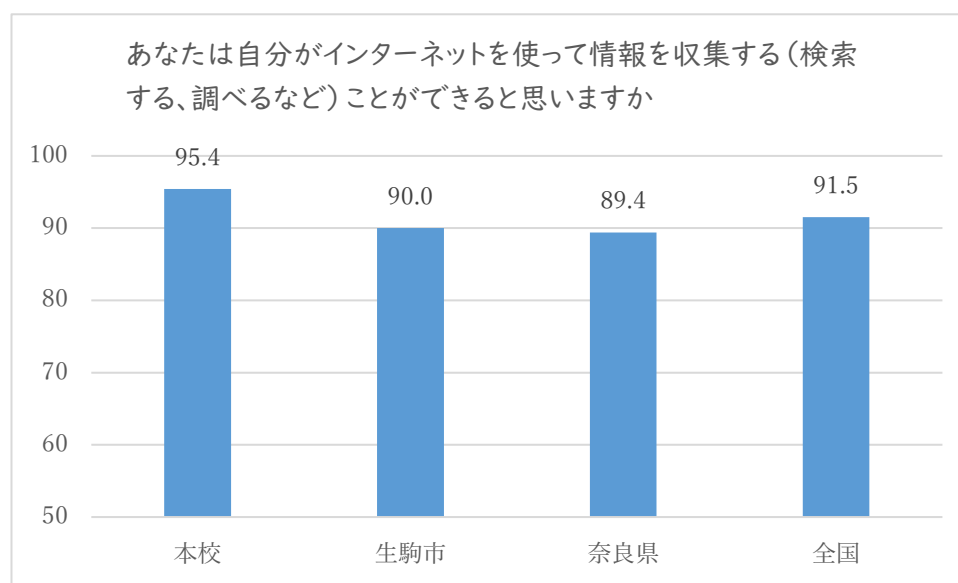


この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、90.7%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、生徒のICT機器を活用する力を伸ばしていく授業づくりが大切です。



○29-2 「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができますか」（新規）

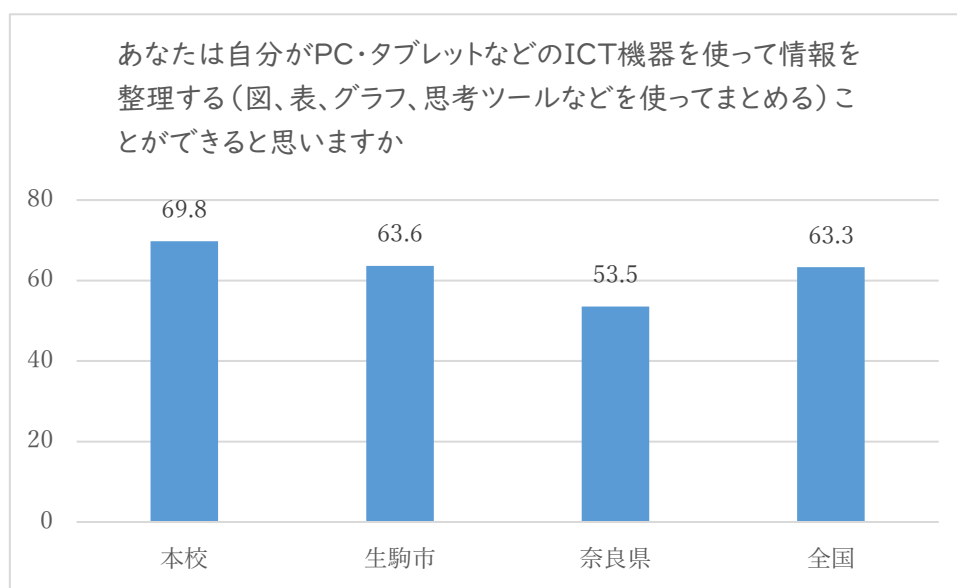
	令和7年
本校	95.4
生駒市	90.0
奈良県	89.4
全国	91.5



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、95.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。質問29-1と同様に、引き続き、生徒のICT機器を活用する力を伸ばしていく授業づくりが大切です。

〇29-3「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると思いますか」(新規)

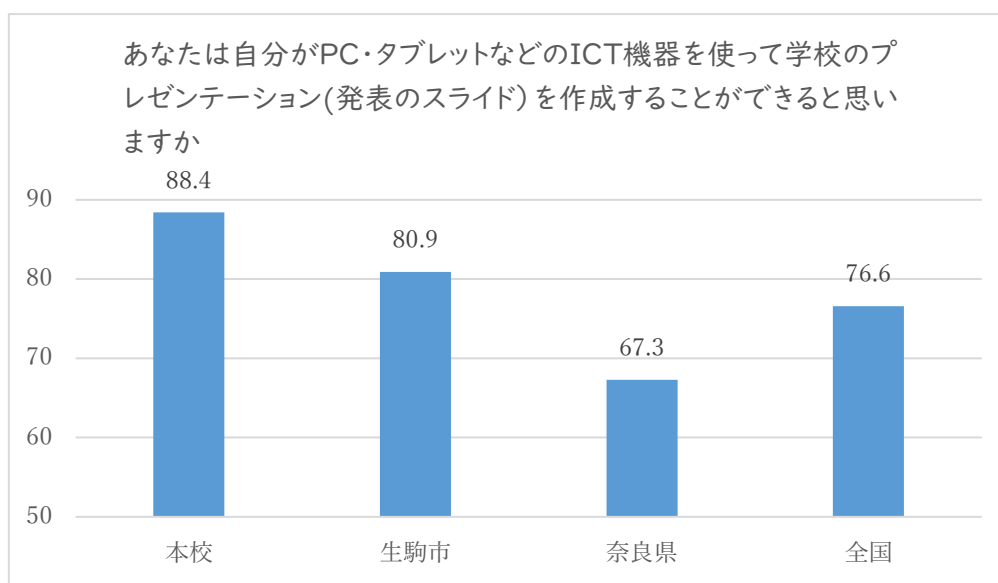
	令和7年
本校	69.8
生駒市	63.6
奈良県	53.5
全国	63.3



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、69.8%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。質問29-1および質問29-2と同様に、引き続き、生徒のICT機器を活用する力を伸ばしていく授業づくりが大切です。

○29-4「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか」（新規）

	令和7年
本校	88.4
生駒市	80.9
奈良県	67.3
全国	76.6

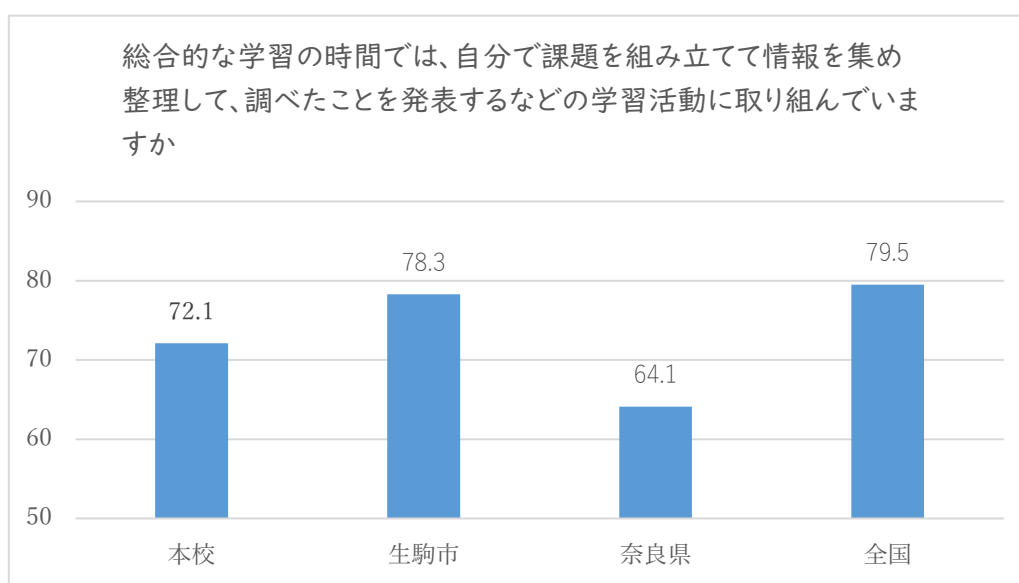


この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、88.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。質問29-1、質問29-2および質問29-3と同様に、引き続き、生徒の ICT 機器を活用する力を伸ばしていく授業づくりが大切です。

### 【総合・学級活動・道徳】

○40「総合的な学習の時間では、自分で課題を組み立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」（新規）

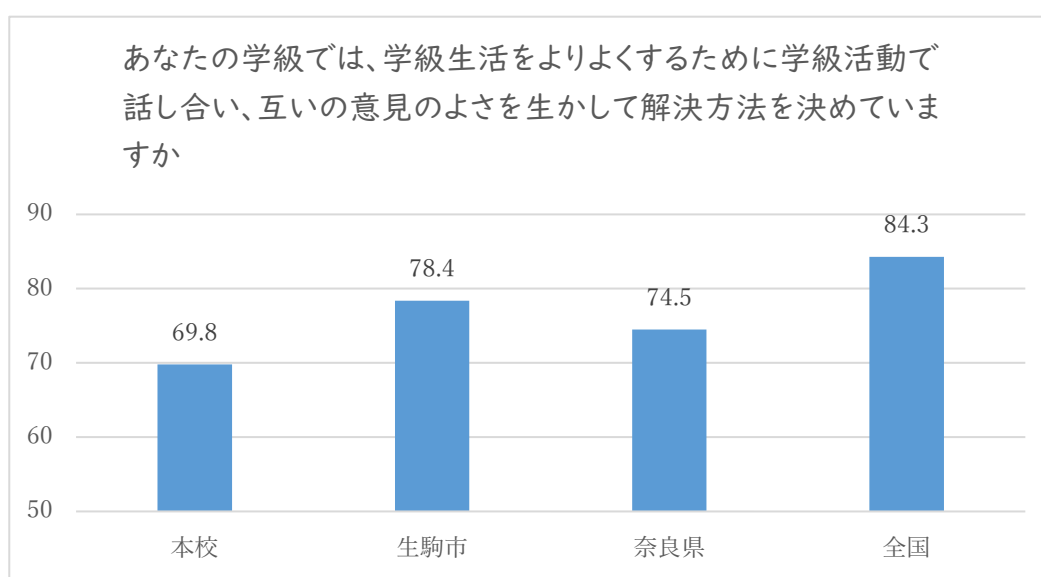
	令和7年
本校	72.1
生駒市	78.3
奈良県	64.1
全国	79.5



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、72.1%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。奈良県の割合と比較すると上回っていますが、全国と生駒市を下回っています。総合的な学習の時間では、学校や地域の実情に応じて、学校全体や各学年で定めた目標や内容を生徒に明確に示すとともに、各教科の枠を超えて、生徒が主体的に課題を見つけ、解決する過程を通して、学び方や考え方を身につけさせ、将来の生き方を考える力を育むことができるよう教員全員で活動内容を考えていく必要があります。

○4「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」（新規）

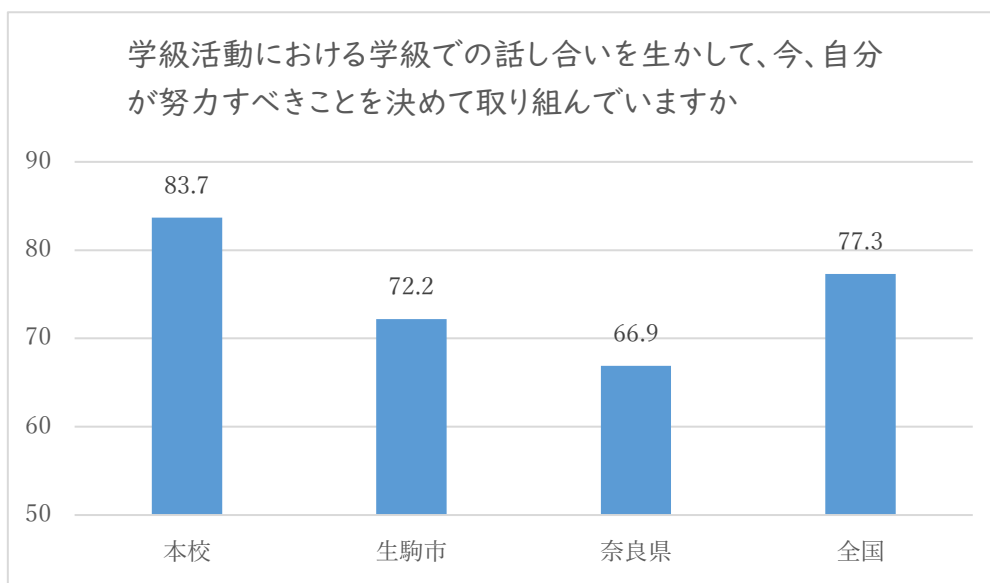
	令和7年
本校	69.8
生駒市	78.4
奈良県	74.5
全国	84.3



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、69.8%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。自分たちの学級生活をよりよくするために意見を交換し、合意形成を目指す話し合い活動の取組をより一層取り入れる必要があります。

○42「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」  
(新規)

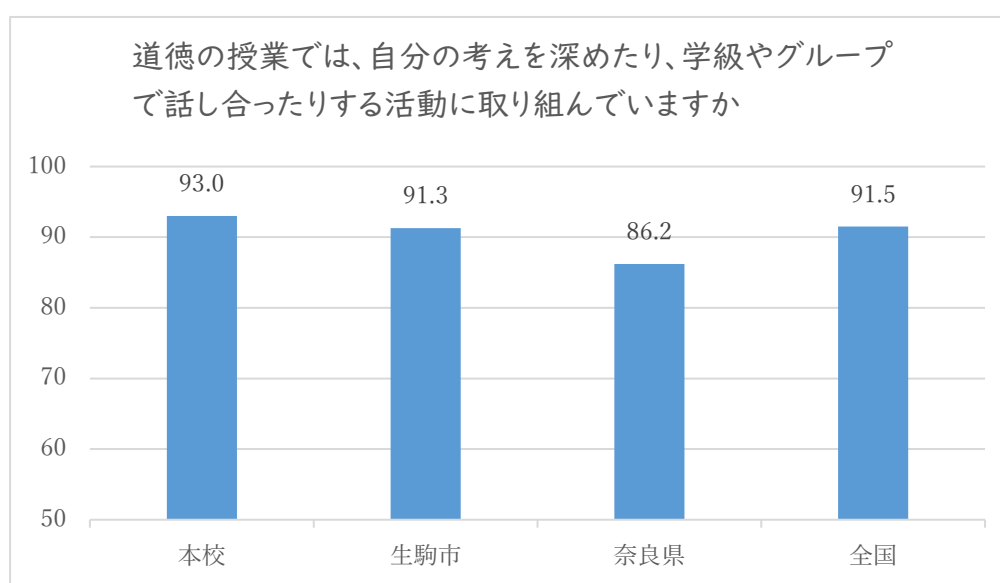
	令和7年
本校	83.7
生駒市	72.2
奈良県	66.9
全国	77.3



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、83.7%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。これからも引き続き、学級活動における自分が果たすべき役割や目標などを明確にし、実践していくことが大切です。

○43 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」  
(新規)

	令和7年
本校	93.0
生駒市	91.3
奈良県	86.2
全国	91.5

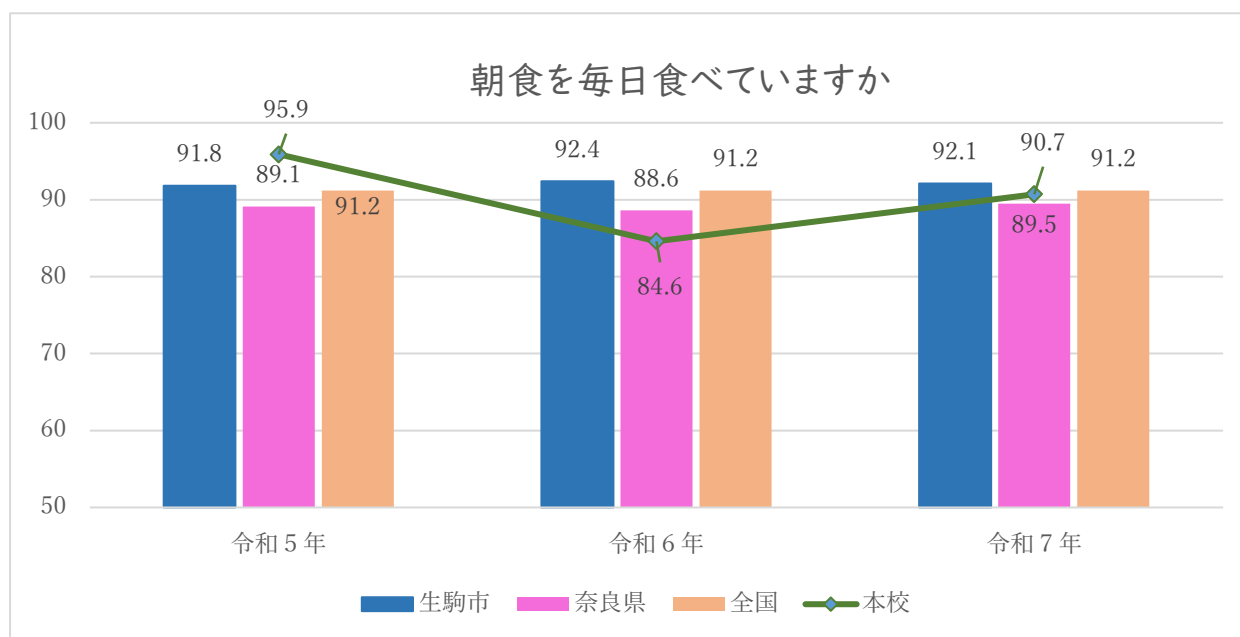


この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校は、93.0%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。道徳の授業では、これからもより一層、意見交換を中心に行い、新たな気づきや発見をしながら、共感力を育み、人間としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目指す授業づくりが重要です。

## 【生活習慣】

○I 「朝食を毎日食べていますか」

	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
本校	95.9	84.6	90.7
生駒市	91.8	92.4	92.1
奈良県	89.1	88.6	89.5
全国	91.2	91.2	91.2

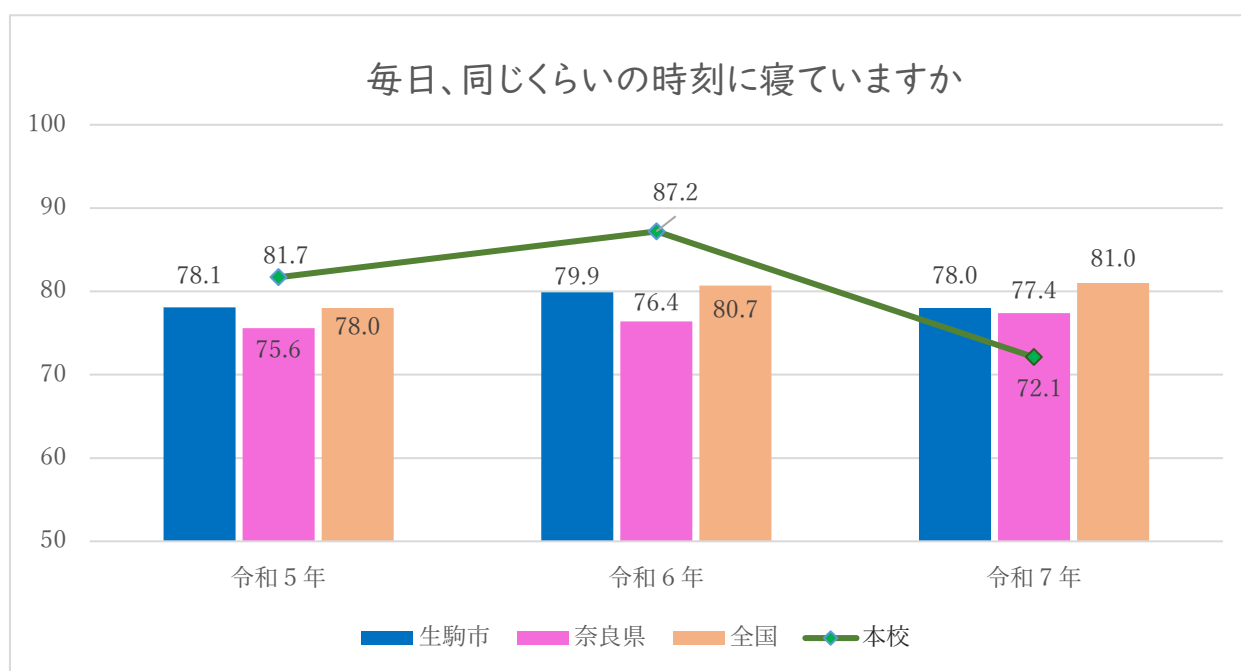


本校では、90.7%の生徒が「している」もしくは「どちらかといえば、している」と回答し、昨年度を6.1%上回っています。しかしながら、全国、生駒市の割合と比較すると、下回っています。朝食を毎日食べることで、体温を上げ脳と体を活動状態にし、午前中の集中力や学力の向上、健康的な成長を支える上で非常に大切であることを伝え、啓発することが必要です。



○2 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

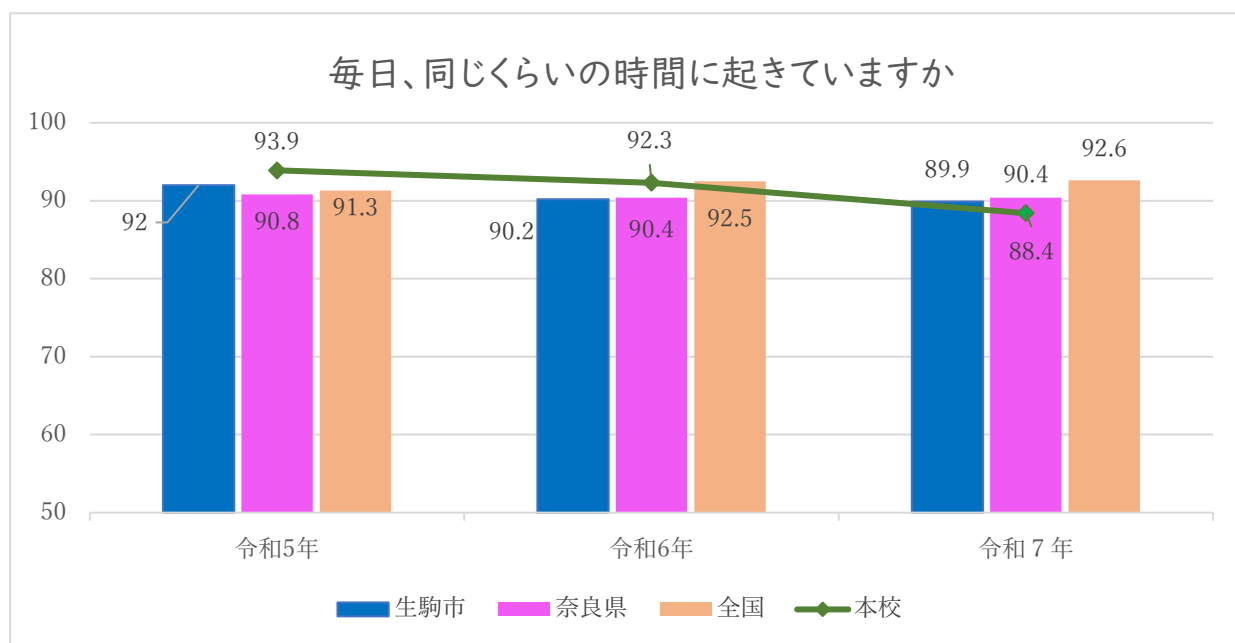
	令和5年	令和6年	令和7年
本校	81.7	87.2	72.1
生駒市	78.1	79.9	78.0
奈良県	75.6	76.4	77.4
全国	78	80.7	81.0



本校では、72.1%の生徒が「している」もしくは「どちらかといえば、している」と回答し、昨年度を15.1%下回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。毎日、同じくらいの時刻に寝ることは、規則正しい睡眠リズムを作り、心身の成長と発達のために不可欠であり、学習能力の定着などにもメリットがあります。質問1と同様に、啓発することが必要です。

○3 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
本校	93.9	92.3	88.4
生駒市	92.0	90.2	89.9
奈良県	90.8	90.4	90.4
全国	91.3	92.5	92.6

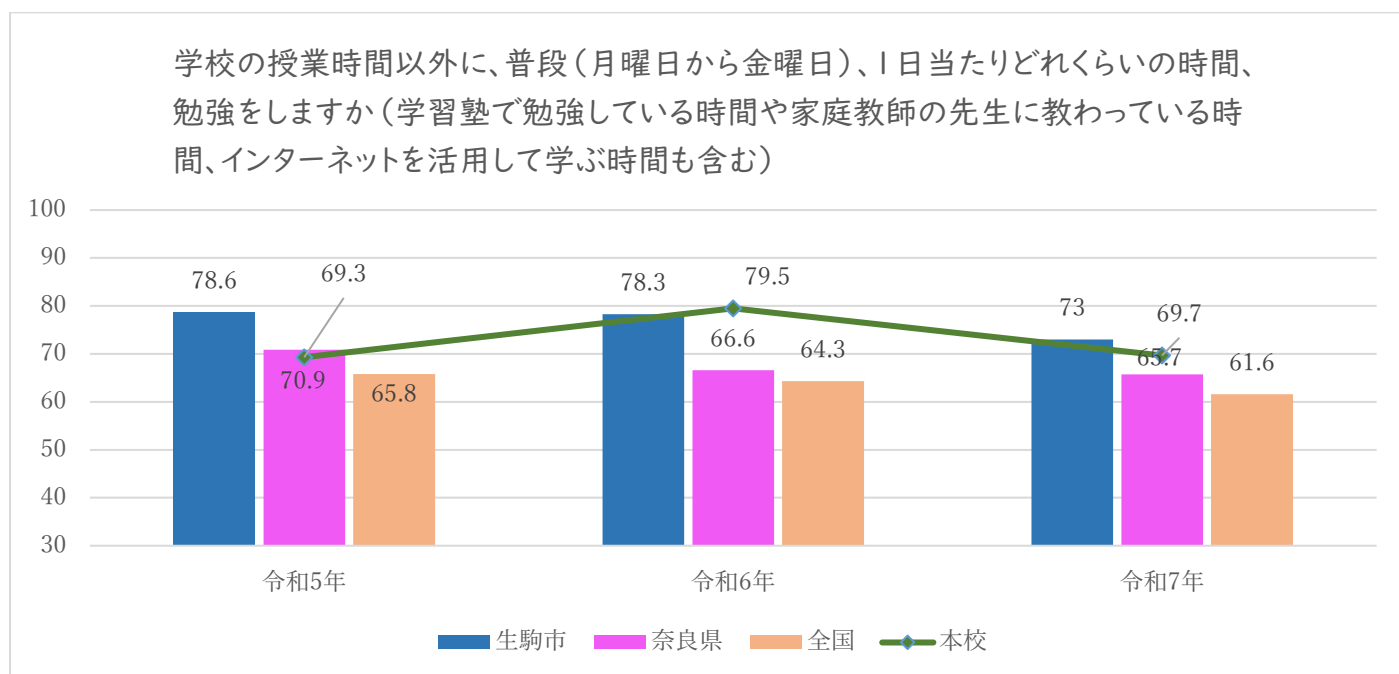


本校では、88.4%の生徒が「している」もしくは「どちらかといえば、している」と回答し、昨年度を3.9%下回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。毎日、同じくらいの時間に起きると、体内のリズムが整い、睡眠の質の向上や日中の集中力維持につながります。質問1、質問2と同様に、規則正しい生活を心掛けることは大切であることを生徒たちに啓発することが喫緊の課題です。

## 【学習習慣】

○17 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。」という質問に対して、

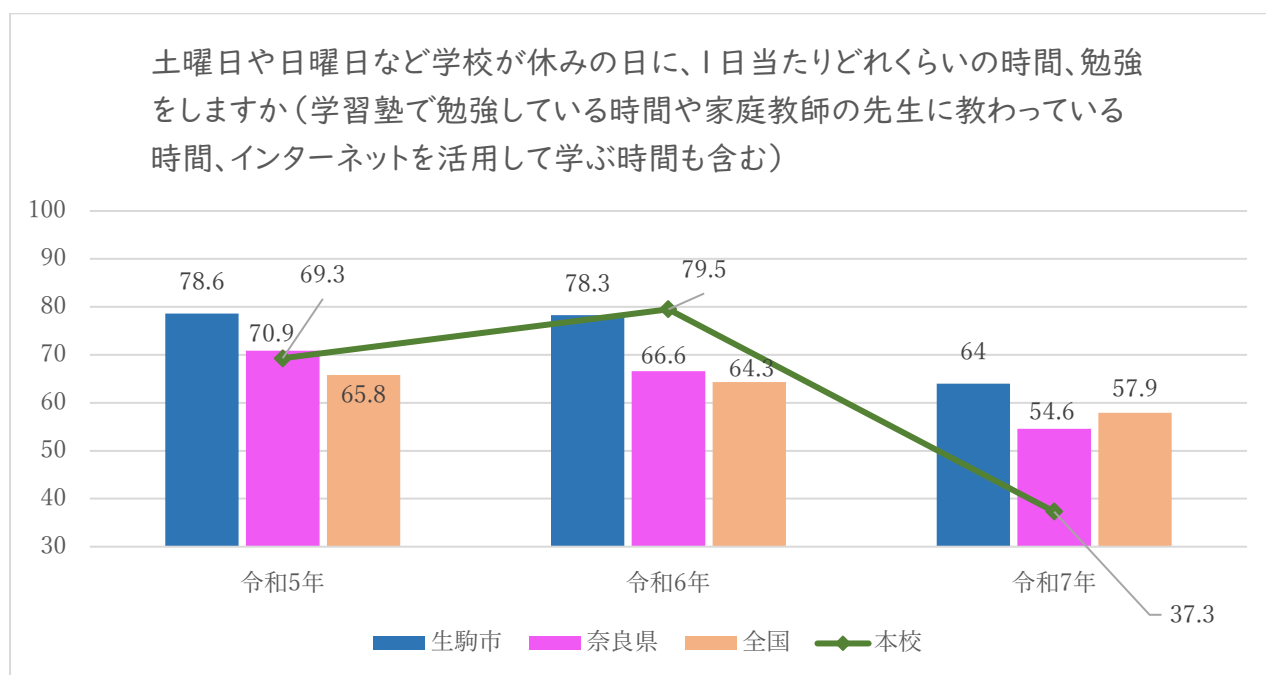
	令和5年	令和6年	令和7年
本校	69.3	79.5	69.7
生駒市	78.6	78.3	73.0
奈良県	70.9	66.6	65.7
全国	65.8	64.3	61.6



本校では、69.7%の生徒が学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり1時間以上勉強していると回答しています。昨年度を9.8%下回っています。全国と奈良県の割合と比較すると、上回っていますが、生駒市の割合と比較すると4.7%下回っています。学習塾に通う生徒が多くなっていますが、主体的に自分の学習を調整することを意識しながら学習することが大切です。

○19 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）」

	令和5年	令和6年	令和7年
本校	69.3	79.5	37.3
生駒市	78.6	78.3	64.0
奈良県	70.9	66.6	54.6
全国	65.8	64.3	57.9

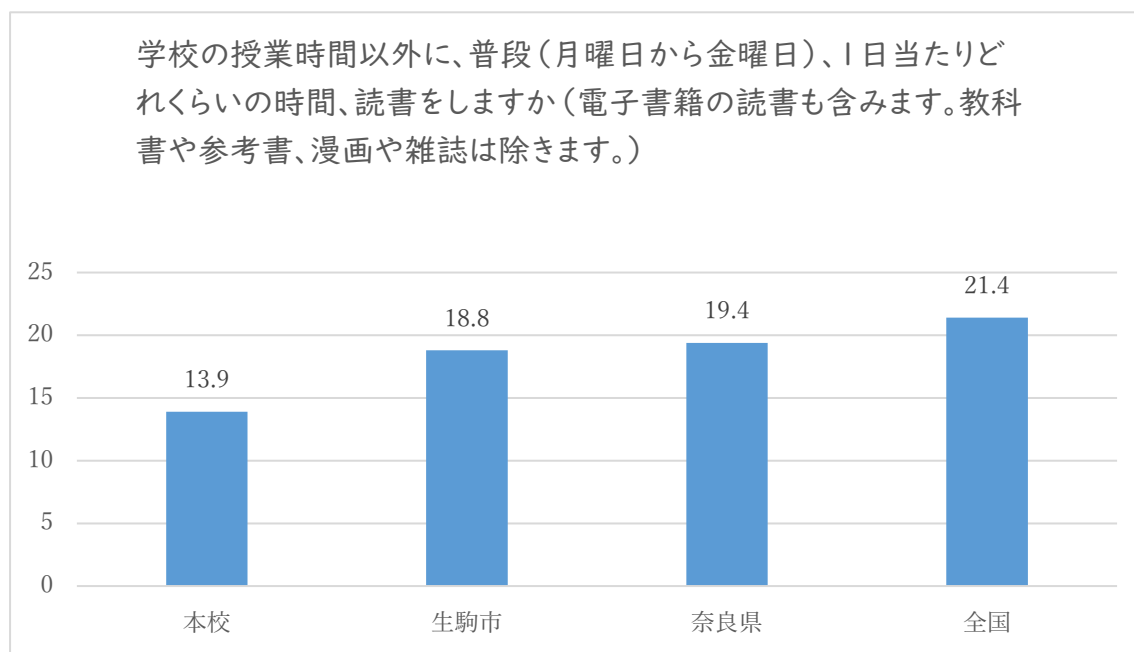


本校では、37.3%の生徒が土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強していると回答しています。昨年度を42.2%下回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。土曜日や日曜日など学校が休みの日は、まとまった時間を確保することが可能であり、学習効果を高めることができます。自分自身で計画を立て、平日の学習内容の復習を行い、学習内容の定着を図ることが重要です。

### 【読書等】

○21「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含みます。教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）」（新規）

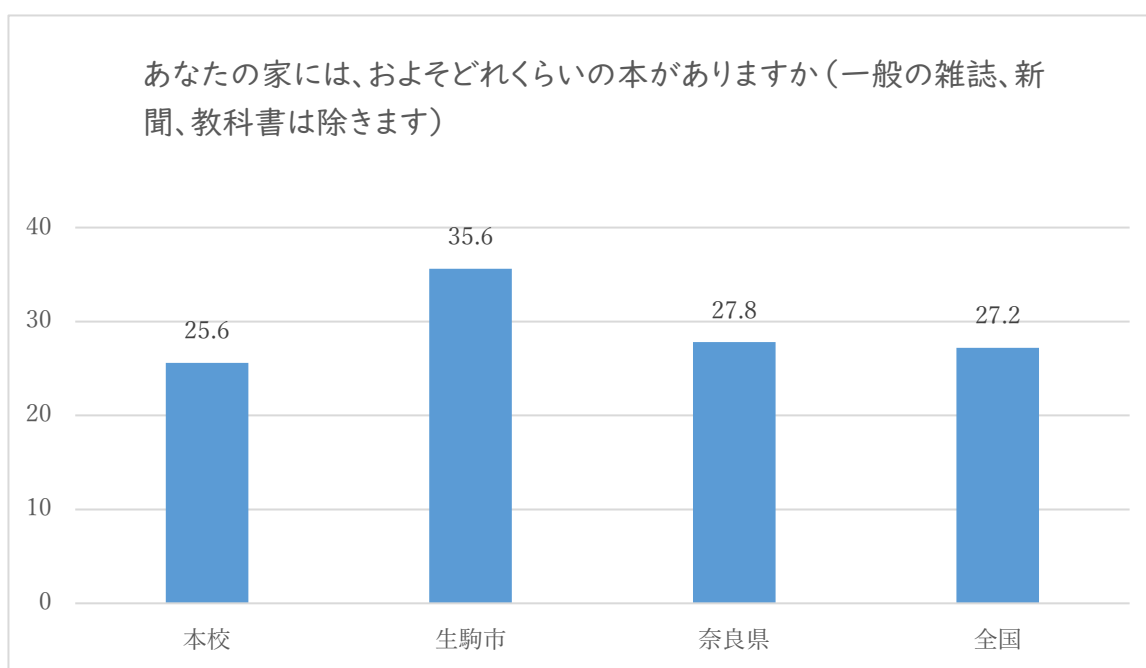
	令和7年
本校	13.9
生駒市	18.8
奈良県	19.4
全国	21.4



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、13.9%の生徒が30分以上読書していると回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。また、本校の生徒で普段（月曜日から金曜日）、1日当たり53.5%の生徒が全く読書をしていないことも分かっています。校内の図書室や地域の図書館を活用するなど、読書離れの改善に努める必要があります。

○22 「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（一般の雑誌、新聞、教科書は除きます）」（新規）

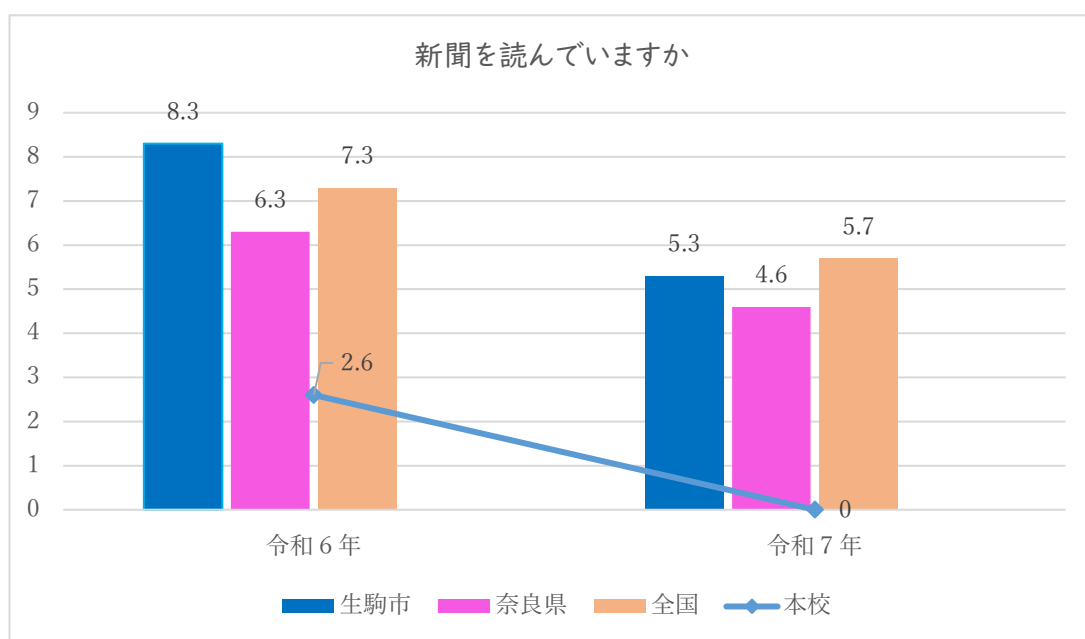
	令和7年
本校	25.6
生駒市	35.6
奈良県	27.8
全国	27.2



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、25.6%の生徒が家に100冊以上の本があると回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。学校では、朝の読書時間などを良い機会として、読書は、考える力・感じる力・創造する力を育み、知識の獲得や多様な文化の理解につながることを、人生を豊かにする重要な活動であることを伝えることが大切です。

〇23 「新聞を読んでいますか」

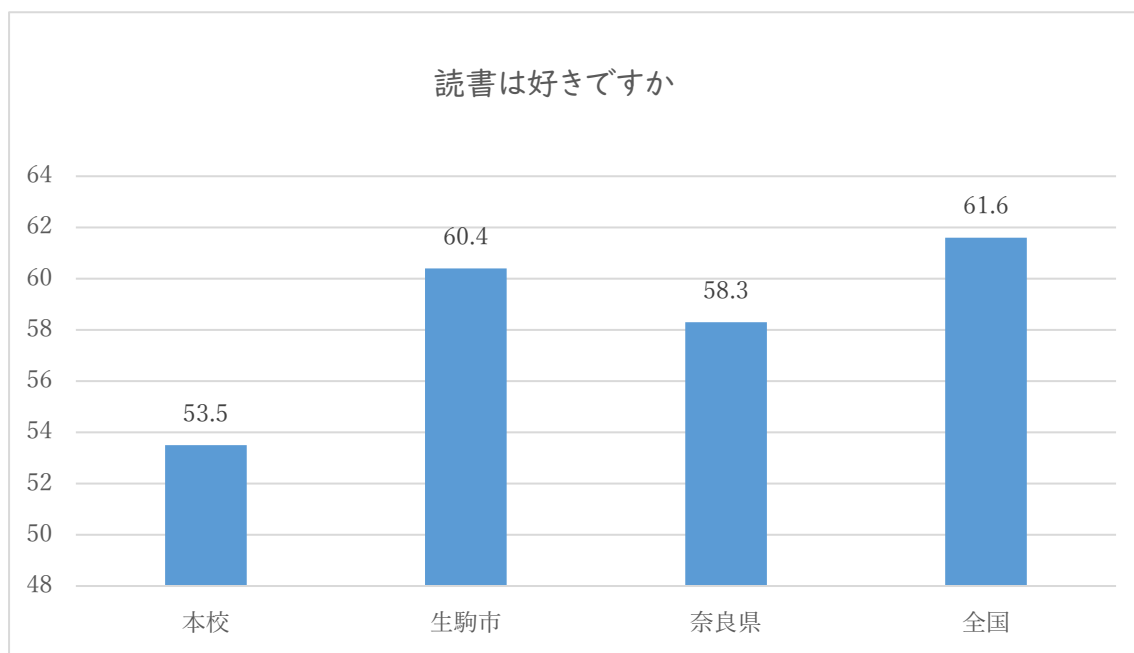
	令和6年	令和7年
本校	2.6	0.0
生駒市	8.3	5.3
奈良県	6.3	4.6
全国	7.3	5.7



本校では、週に1回以上新聞を読んでいる生徒が0.0%と回答しています。昨年度は2.6%の生徒が週に1回以上新聞を読んでいると回答していました。今年度の結果を全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。新聞離れが顕著に表れています。一人一台端末の環境が整っており、すぐにインターネットで情報を収集できるようになっている背景が影響していると考えられます。情報リテラシー教育が大切です。

○24 「読書は好きですか」(新規)

	令和7年
本校	53.5
生駒市	60.4
奈良県	58.3
全国	61.6



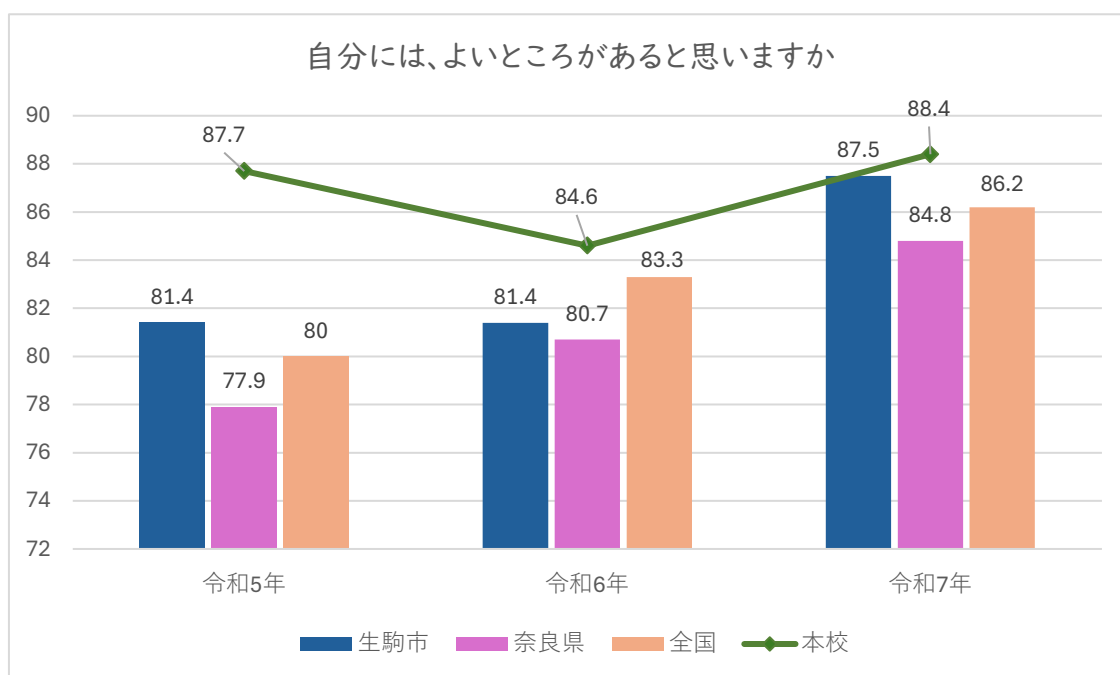
この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、53.5%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。質問21の1日当たりどれくらいの時間、読書をしますかと相関関係にあります。読書が好きと思う気持ちを育てる取組を多く取り入れると、読書をする時間の増加につながると考えられます。



# 【自己有用感等】

○5 「自分には、よいところがあると思いますか」

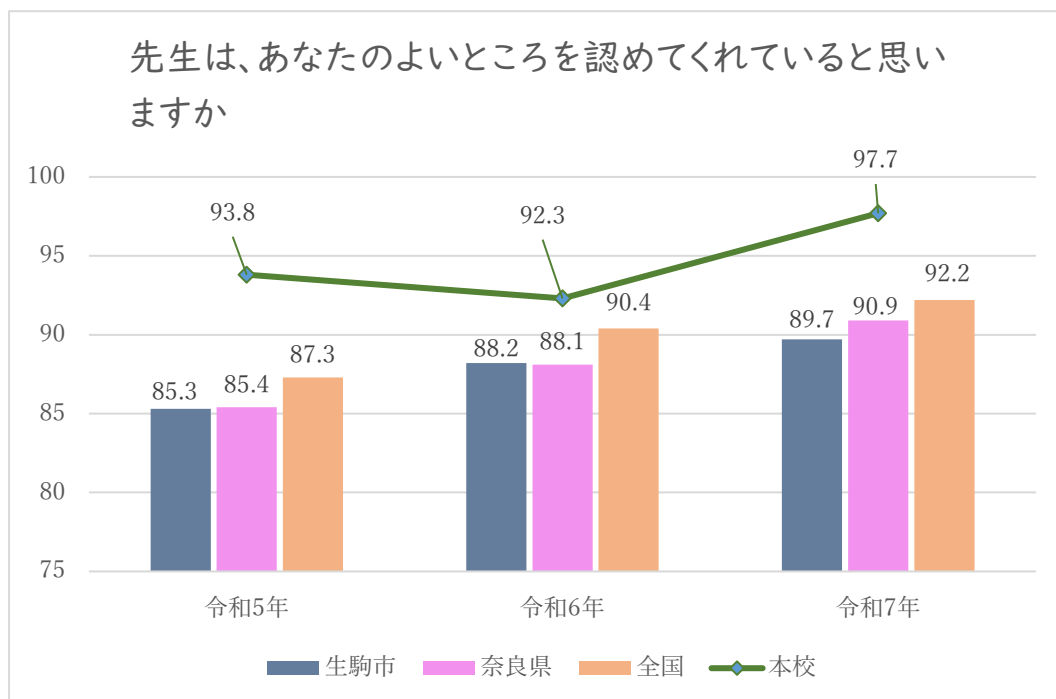
	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
本校	87.7	84.6	88.4
生駒市	81.4	81.4	87.5
奈良県	77.9	80.7	84.8
全国	80	83.3	86.2



本校では、88.4%の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を3.8%上回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、他者も自分も大切にできるような取組を積極的に行い、自己肯定感を高められるような環境づくりが大切です。

〇6 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

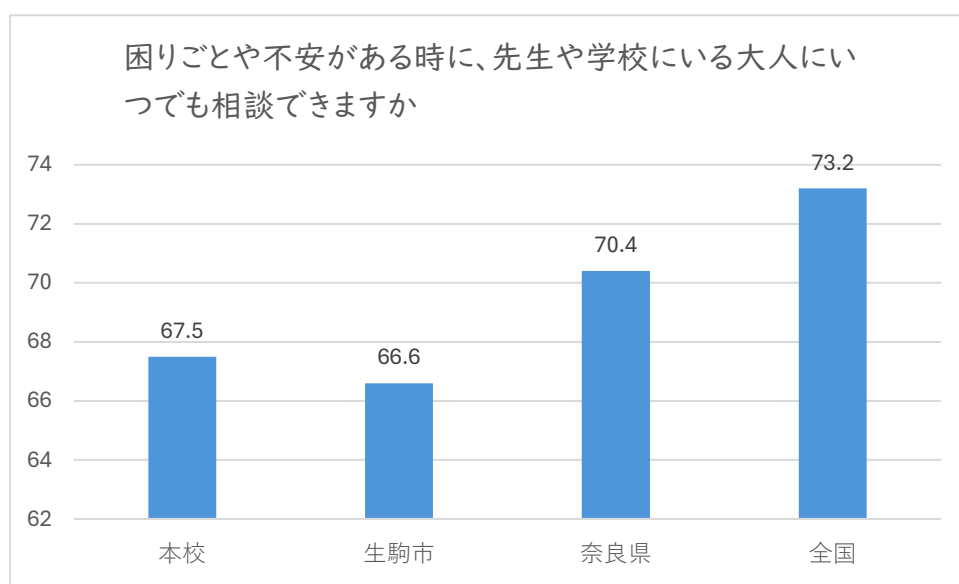
	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
本校	93.8	92.3	97.7
生駒市	85.3	88.2	89.7
奈良県	85.4	88.1	90.9
全国	87.3	90.4	92.2



本校では、97.7%の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を5.4%上回っています。さらに、全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、生徒との信頼関係を大切にしながら、一人ひとりの生徒に寄り添い、個々の成長につながる支援を行うことが大切であると考えられます。

○10 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」（新規）

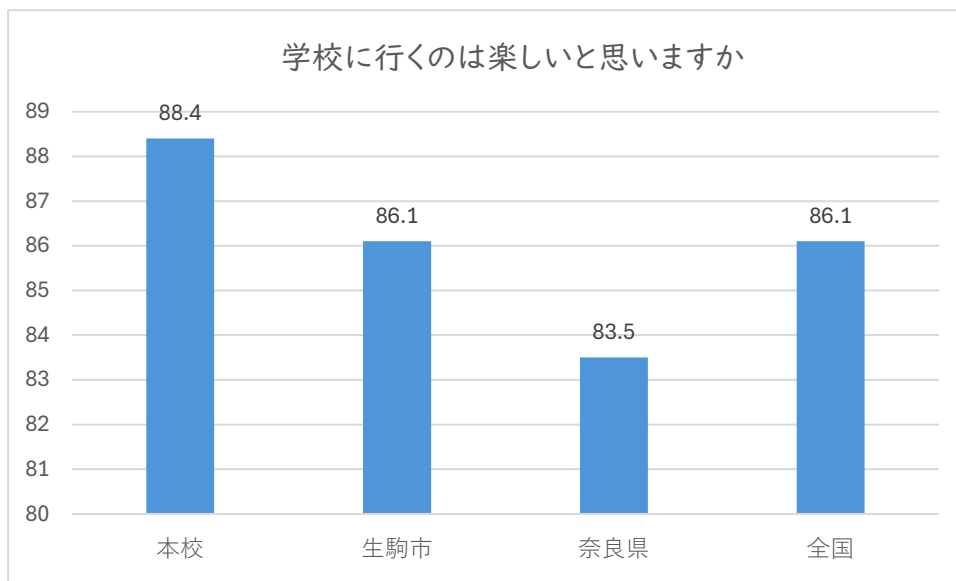
	令和7年
本校	67.5
生駒市	66.6
奈良県	70.4
全国	73.2



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、67.5%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、生駒市を上回り、を全国と奈良県を下回っています。質問6を鑑みると、先生はよいところを認めてくれて信頼関係は築けているが、相談できる環境が十分ではないのではないかと考えられます。これからは、より一層生徒の SOS にいち早く気づき、積極的な生徒指導を行っていくことが大切であると考えられます。

○12 「学校に行くのは楽しいと思いますか」(新規)

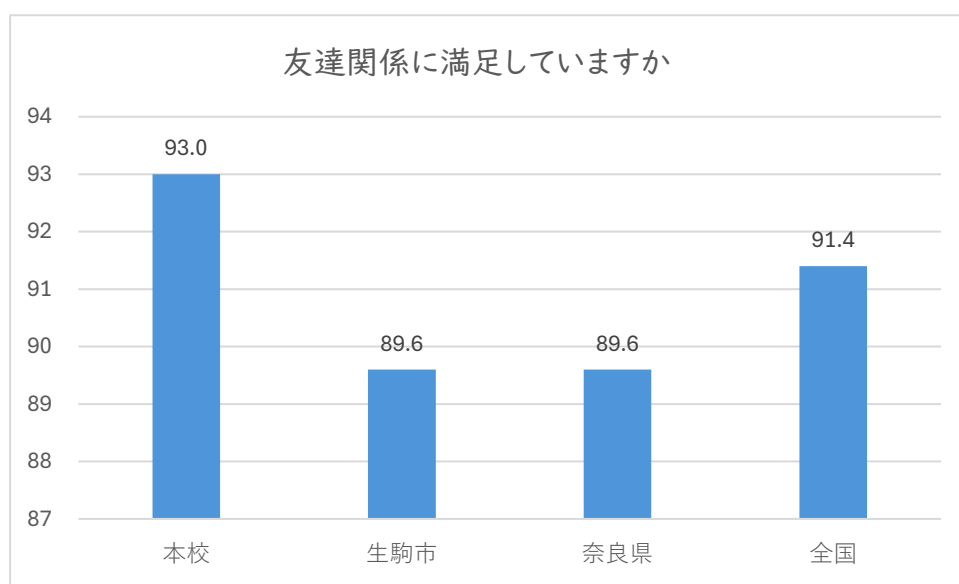
	令和7年
本校	88.4
生駒市	86.1
奈良県	83.5
全国	86.1



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、88.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、生徒一人ひとりが安心して学校に通い、楽しく充実した学校生活を送れるような取組を工夫していく必要があります。

○14 「友達関係に満足していますか」(新規)

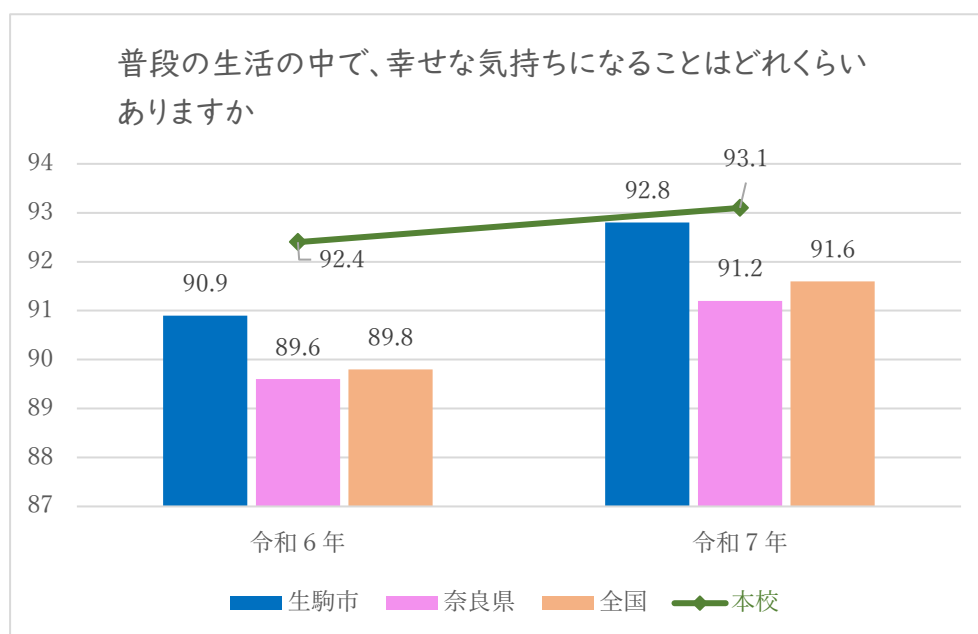
	令和7年
本校	93.0
生駒市	89.6
奈良県	89.6
全国	91.4



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、93.0%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、学級活動を主軸としながら、クラスや学年の垣根を超えた交流や仲間づくりを行っていくことが大切であると考えられます。

○15 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」

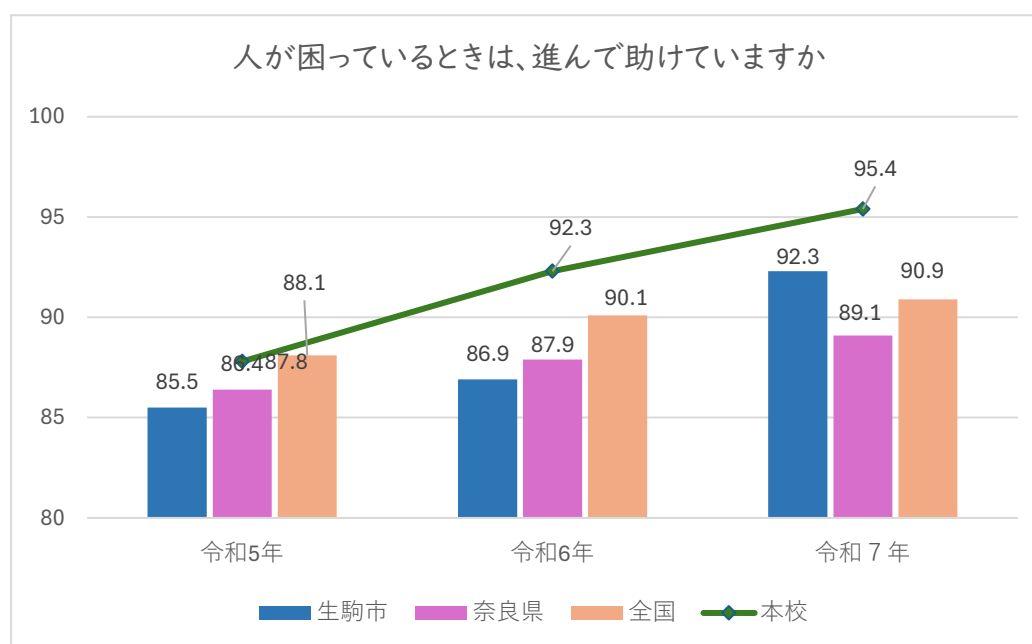
	令和6年	令和7年
本校	92.4	93.1
生駒市	90.9	92.8
奈良県	89.6	91.2
全国	89.8	91.6



本校では、93.1%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度を0.7%上回っています。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。しかし、約7.0%の生徒が「あまりない」と回答していることから、生徒一人ひとりに寄り添いながら、ほんの少しの変化に気づき、支援していくことが大切であると考えられます。

〇8 「人が困っているときは、進んで助けていますか」

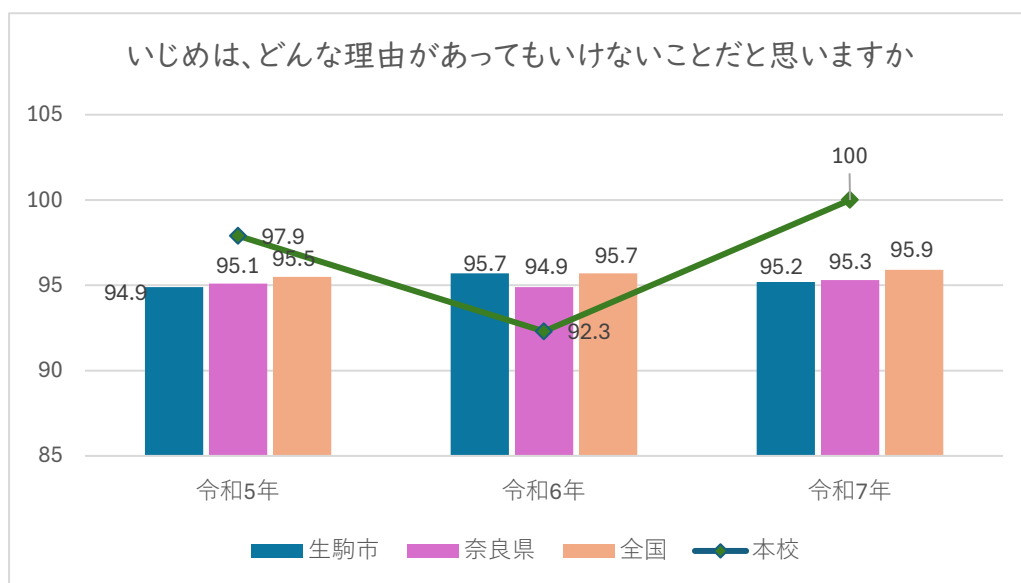
	令和 5 年	令和 6 年	令和7年
本校	87.8	92.3	95.4
生駒市	85.5	86.9	92.3
奈良県	86.4	87.9	89.1
全国	88.1	90.1	90.9



本校では、95.4%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。3年間のデータを見ると、人が困っているときは、進んで助けている生徒の割合が2年続けて増えていることが分かります。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。これからも、思いやりの心を育てる取組が大切です。

○9 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
本校	97.9	92.3	100
生駒市	94.9	95.7	95.2
奈良県	95.1	94.9	95.3
全国	95.5	95.7	95.9

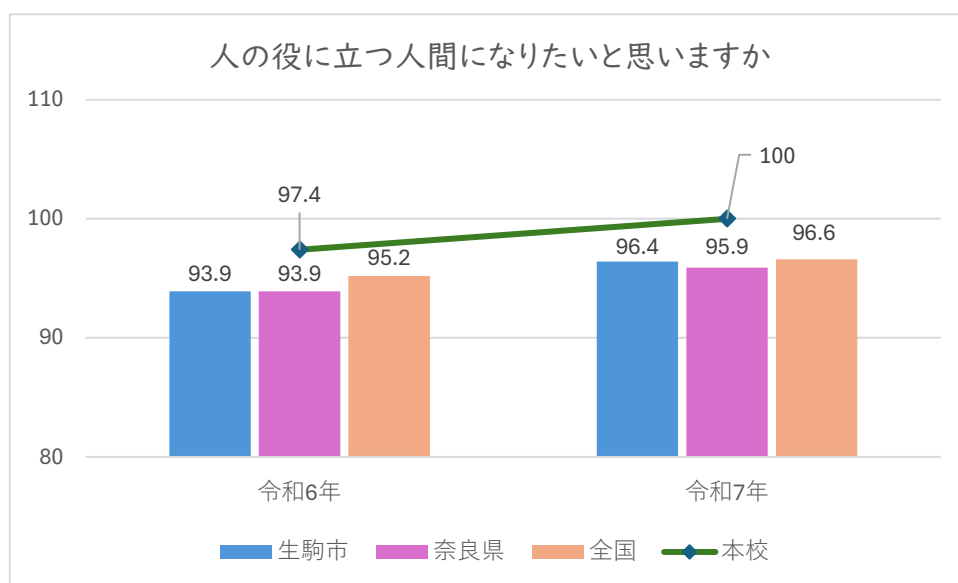


本校では、100%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度の92.3%から上昇しています。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、道徳の授業をはじめ各教科において、いじめのない仲間づくりを推進していくことが大切です。



〇ⅠⅠ 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、100%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しました。

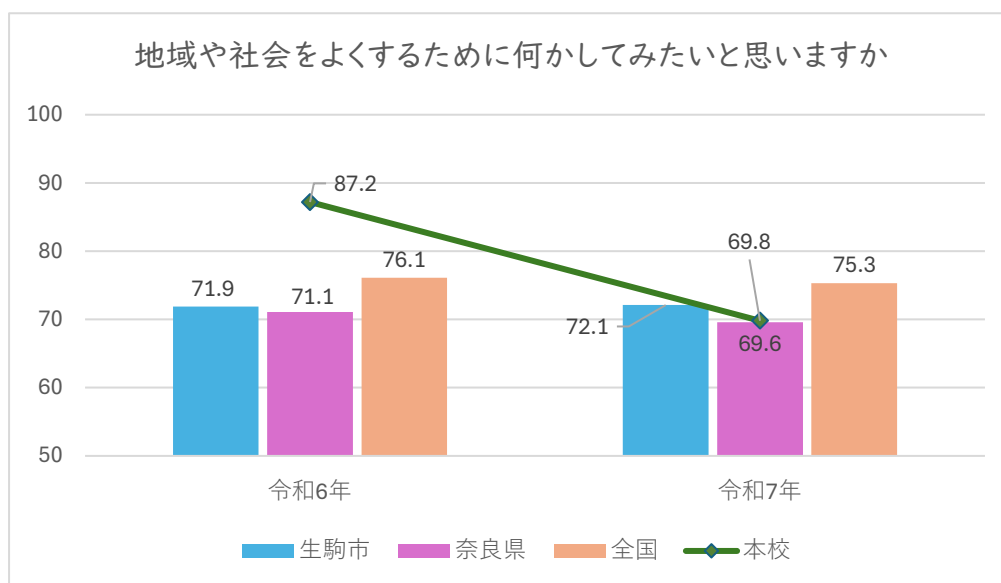
	令和 6 年	令和 7 年
本校	97.4	100
生駒市	93.9	96.4
奈良県	93.9	95.9
全国	95.2	96.6



本校では、100%の生徒が「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度の97.4%から上昇しています。さらに、今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを上回っています。引き続き、地域や学校で人との関りを深められるような取組を行い、将来の職業観・勤労観を育てていくことが大切です。

○27 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」

	令和 6 年	令和 7 年
本校	87.2	69.8
生駒市	71.9	72.1
奈良県	71.1	69.6
全国	76.1	75.3

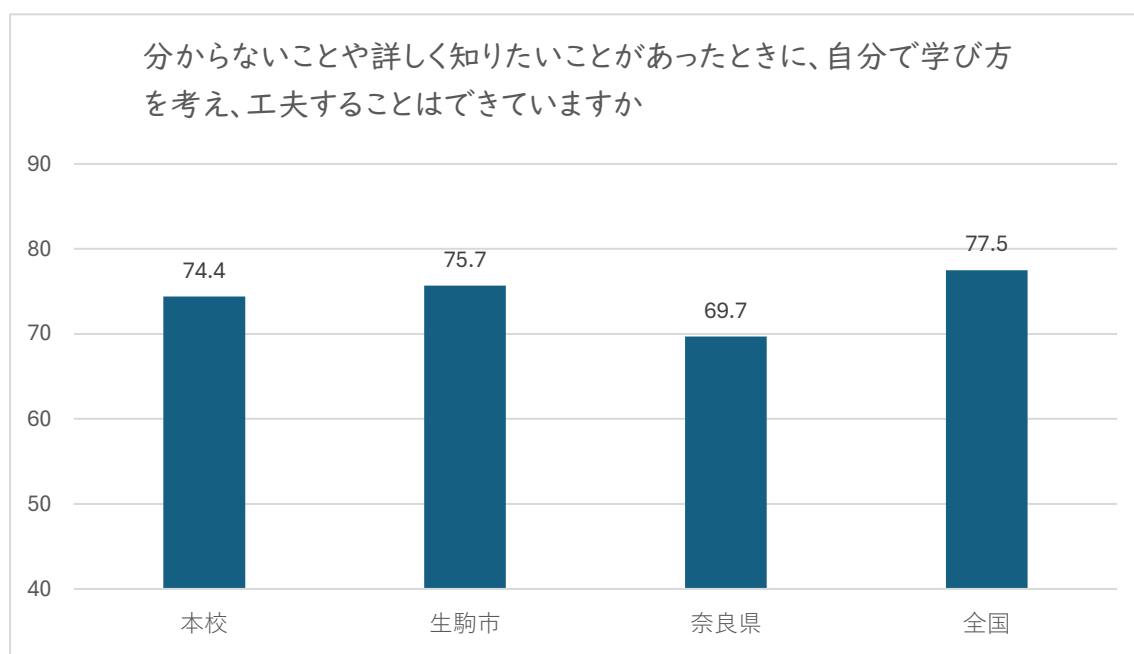


本校では、69.8%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。昨年度より17.4%下回っています。今年度の全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、奈良県とほぼ同じ割合であるものの、全国と生駒市を下回っています。地域や社会とのつながりを意識した取組を取り入れ、地域や社会に貢献することの大切さを伝えていくことが課題です。

### 【主体的な学習の調整】

○16「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」(新規)

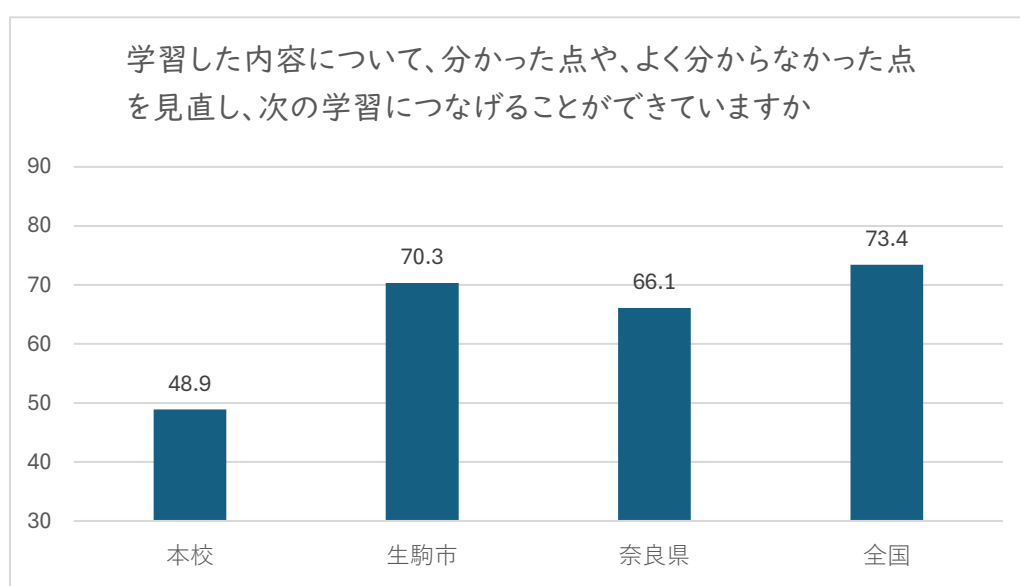
	令和7年
本校	74.4
生駒市	75.7
奈良県	69.7
全国	77.5



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、74.4%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、奈良県を上回り、全国と生駒市を下回っています。今後は、生徒自身が学習状況を把握し、学習方法を自ら改善する力をつけられるような学習指導が必要です。

○36 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」(新規)

	令和7年
本校	48.9
生駒市	70.3
奈良県	66.1
全国	73.4



この質問に関しては、本年度初めて取り上げた項目になります。本校では、48.9%の生徒が「当てはまる」もしくは「どちらかといえば、当てはまる」と回答しています。全国、奈良県、生駒市の割合と比較すると、全てを下回っています。本校の半数以上の生徒が、学習した内容を次の学習につなげることがあまりできていないことがわかります。授業では、目標を設定して学習し、次の学習につながる振り返りを意識して行うことが課題です。